

トラブルQ&A

困ったときにお読みください

PC-98²¹ Nr13/D14

PC-98²¹ Nr13/S14

PC-98²¹ Nr13/S14Z

●トラブルQ&A

●トラブル解決のために

98 NOTE *Lavie*^{ラヴィ}

ご注意

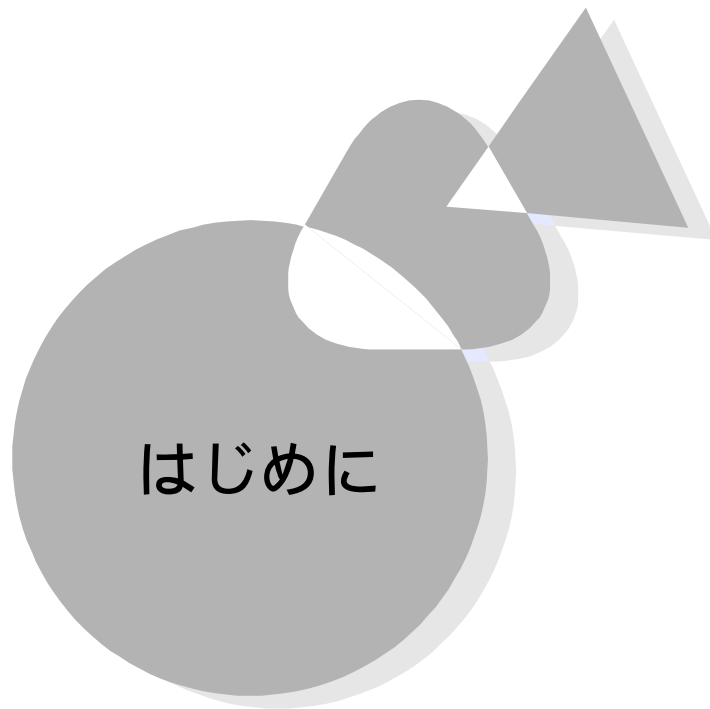
- (1) このマニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- (2) このマニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) このマニュアルの内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

OS/2、OS/2 Warpは米国IBM Corporationの商標です。

© NEC Corporation 1997

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。



はじめに

このマニュアルは、本機を使用中に「困ったな」、「何かおかしい」と感じたときの対処方法を説明しています。
本機を使いこなすために、このマニュアルをご活用ください。

— PC-9821Nr13/S14ZでWindows 3.1をご使用の方へ —

本書はWindows 95での操作方法を中心に記載したものです。Windows 3.1での操作については別冊の「ソフトウェア補足ガイド」および「Microsoft Windows 3.1/MS-DOS 6.2クイックガイド」とあわせてご覧ください。

このマニュアルの構成

このマニュアルは次の内容で構成されています。



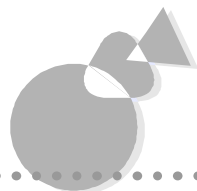
Part 1 トラブルQ & A

トラブルの具体的な事例と解決方法を一問一答形式で説明しています。



Part 2 トラブル解決のために

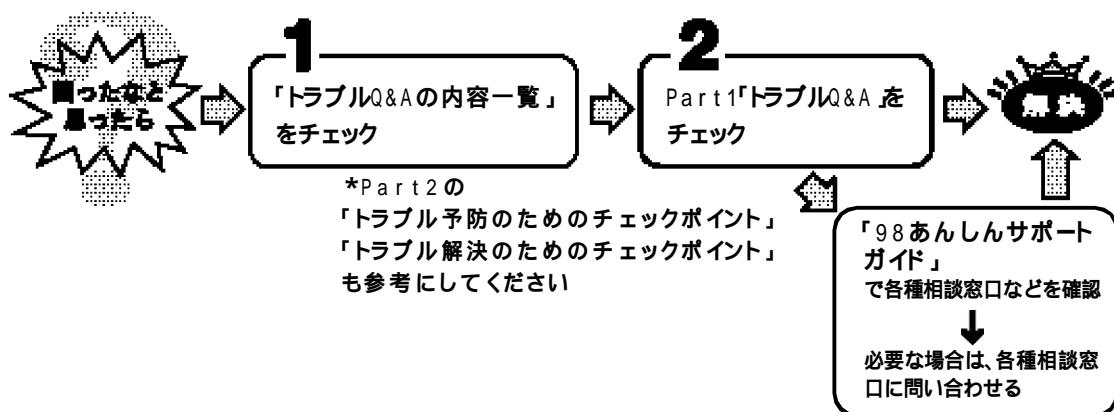
トラブルが起こったときの一般的な解決方法について説明しています。その他、コンピュータウイルス対策など、トラブルの予防についても説明しています。



付録








パソコン用語集を収録しています。

このマニュアルの使い方




このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号には、次のような意味があります。

	PC-9821Nr13/D14、PC-9821Nr13/S14でインストール済みのWindows 95をお使いの場合の説明です。
	PC-9821Nr13/S14Zでインストール済みのWindows 3.1をお使いの場合の説明です。
	Windows 95、Windows 3.1共通の説明です。
	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。場合によっては、本機が故障したり、本機で使用しているソフトウェアや、お客様が作成されたデータが壊れたりする可能性があります。
	参考にしていただきたいことを説明しています。
	本文中に出てくる用語の説明や、知っておくとよいことなどを説明しています。
	参照ページを表しています。

このマニュアルで使用している表記には、次のような意味があります。

Windows	Windows 95とWindows 3.1の両方を指します。
MS-DOS	MS-DOS [®] 6.2を指します。
MS-DOSモード	Windows 95のMS-DOSモードを指します。
[XXX]	[]で囲んである文字は、画面に表示されるダイアログボックス、ボタンなどの名前を表しています。例：[OK]ボタン
クリック	操作手順中「クリック」とある場合は、特にことわりがない限り左クリックを表します。
	キーボードのキーは、枠で囲んで表記しています。

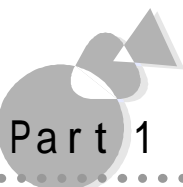
記載されているアプリケーションソフトなどの正式名称は、次のとおりです。

本文中の表記	正式名称
Windows 95	Microsoft [®] Windows [®] 95 Operating System
Windows 3.1	Microsoft [®] Windows [®] Operating System Version 3.1
Windows NT	Microsoft [®] Windows NT [®] Workstation Operating System

本文中の画面は、実際の画面と異なることがあります。また、画面はモデルによって異なることがあります。

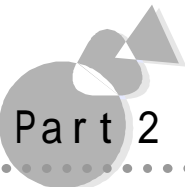
目次

はじめに	
このマニュアルの構成	iv
このマニュアルの表記について	v
Part1 トラブルQ&Aの内容一覧	viii



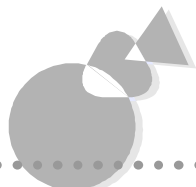
Part 1 トラブルQ&A

セットアップ時のトラブル	2
本機起動時のトラブル	3
Windows 95の操作と設定	9
日本語入力	17
パソコン使用中のトラブル	19
バッテリー	20
サスペンド/レジューム機能	23
ハイバネーション機能	27
画面表示	30
キーボード、98スライドパッド	38
フロッピーディスクドライブ	45
ハードディスク	47
印刷	51
インターネット/パソコン通信	54
サウンド	63
本機の動作環境の設定	65
その他	66



Part 2 **トラブル解決のために**

トラブル予防のためのチェックポイント	70
トラブル解決のためのチェックポイント	73
コンピュータウイルス対策について	76
コンピュータウイルスとは	76
トラブルチェックシート	79

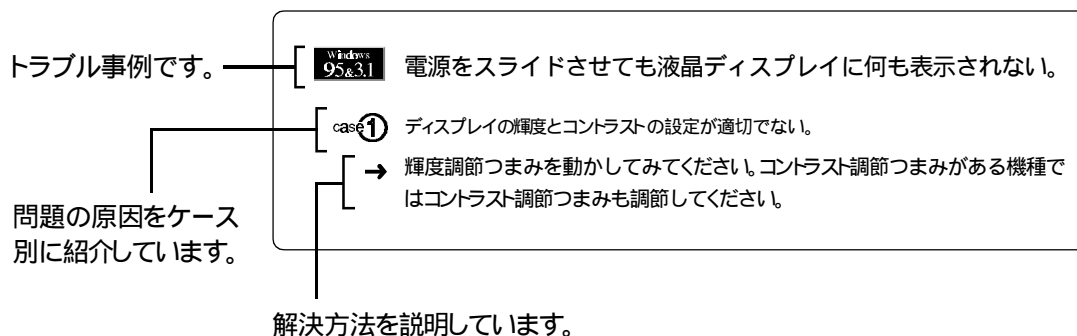


付録

パソコン用語集	82
索引	92

Part1 トラブルQ&Aの内容一覧

Part1の読み方



Part1の項目一覧

- 95PC-9821Nr13/S14、PC-9821Nr13/D14をお使いの場合のトラブル
- 3.1PC-9821Nr13/S14Zをお使いの場合のトラブル
-両モデル共通のトラブル

セットアップ時のトラブル

- 95 誤ってサスペンドスイッチを押したり、電源をOFFにしてしまった。..... 2
- 95 ハードウェアの検出中にパソコンが応答しなくなった(ハングアップした)。..... 2
- 95 セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい。..... 2

本機起動時のトラブル

- 電源がONにならない。..... 3
- 液晶ディスプレイに何も表示されない。..... 3
- 「ピポッ」という音がしない。..... 4
- 95 「Windowsが正しくシャットダウンされませんでした。...どれかキーを押してください」と表示される。4
- エラーメッセージが表示される。..... 4
- 3.1 Windows 3.1起動時に「仮想サウンドドライバ(\vcmd.386)がありません。」というエラーメッセージが表示される。..... 5
- Windowsが起動しない。..... 6
- 別売の周辺機器を増設したら本機が起動しなくなった。..... 6
- 電源をOFFにできない。..... 7
- パスワードを忘れてしまった。..... 7
- 95 「Windows 95起動メニュー」が表示され、Safeモードで起動した。..... 8

Windows 95の操作と設定

95	アプリケーションソフトがインストールできない。	9
■	ファイルが見つからない。	10
95	必要なファイルを消してしまった。	10
95	長いファイル名が使えない。	11
95	Windows 95で「スタート」ボタンが表示されない。	11
95	Windowsパスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される。	12
95	「Windows 95へようこそ」の画面を表示させたい。	13
95	デバイスマネージャで項目に赤い×マークが付いている。	13
95	ファイルの拡張子を表示させたい。	14
95	マイコンピュータでフォルダを開くたびに新しいウィンドウを表示させないようにしたい。	14
95	MS-IME97使用時、Windows 3.1対応アプリケーションが使用できない。	15

日本語入力

■	Windowsで日本語入力をするには?	17
■	日本語入力ができない。	17
95	「CTRL」を押しながら「XFER」を押しても、日本語入力システムのオン/オフができない。	17
95	MS-DOSモードで別売のMS-DOS用の日本語入力システム(FEP)がうまく読み込めない。	18
95	日本語入力のツールバーを表示させたい。	18

パソコン使用中のトラブル

■	本機使用中にACアダプタや本機底面が熱くなる。	19
■	マウスやキーボードを操作しても動かなくなった。	19

バッテリー

■	ACアダプタを接続してもバッテリーの充電がはじまらない。	20
■	バッテリー容量の減少が極端に早い。	20
95	タスクバーに電源アイコン(🔌や🔋)が表示されない。	21
■	フル充電されているはずなのに動作表示ランプが黄色(バッテリー充電中)に点灯している。	22
■	バッテリー駆動にすると液晶ディスプレイが暗くなる。	22

サスペンド/レジューム機能

■	サスペンド/レジューム機能が使えない。	23
■	オートサスペンド(自動中断)を設定していても機能が働かない。	23

■	設定内容と異なる時間にオートサスペンド(自動中断)が働く。.....	24
■	レジュームしようとしてサスペンドスイッチを押したら、ディスプレイに何も表示されず「ピッピッピ」と警告音が鳴った。.....	24
■	レジュームしようとしてサスペンドスイッチを押してもサスペンドの内容が表示されない。.....	25
95	Windows 95の「スタート」メニューに「サスペンド」が表示されない。.....	25
95	LCD連動サスペンド/レジュームを設定してレジュームしようとしたとき、画面が乱れて電源がOFFになった。.....	26
31	レジュームした後にWindows 3.1を終了しようとしたら、途中で本機が動かなくなった。.....	26

ハイバネーション機能

■	「ハイバネーション機能は無効です」というメッセージが表示される。.....	27
■	ハイバネーション機能の設定ができない。.....	27
■	ハイバネーションが実行できない。.....	28
31	電源スイッチをスライドしてハイバネーション状態から復旧しようとするとき、「RESUME FAILURE」と表示され、自動的に再起動してしまう。.....	29

画面表示

■	電源をONまたはレジューム時に液晶ディスプレイに何も表示されない。.....	30
95	電源ON時に「ディスプレイ設定に問題があります」というエラーメッセージが表示される。.....	31
95	画面が乱れる。.....	31
■	表示された文字が読みづらい。.....	31
■	電源ON後しばらくすると、画面が真っ暗になる。.....	32
■	ディスプレイの省電力機能が設定できない。.....	33
95	ディスプレイの解像度などの変更をする際、「ディスプレイの種類が指定されていません」というメッセージが表示される。.....	34
95	液晶ディスプレイ自動停止機能(ディスプレイのバックライト消灯)が働かない。.....	34
95	密度変換機能が使えない。.....	34
95	表示できるはずの高解像度が選択できない。.....	35
95	Windows 95でハードウェアウィザードを起動してドライバのインストールを実行して再起動したら、640×480ドットの表示になった。.....	36

キーボード、98 スライドパッド

■	ポインティングデバイスを動かしても反応しない。.....	38
■	スライドパッドが正しく動作しない。.....	38
■	突然キー入力や98スライドパッドの操作ができなくなった。.....	39
■	別売のキーボードが動かない、または使えないキーがある。.....	39
95	Windows 95用海外ゲームでキー入力を正常に行うには?.....	40
■	キーボードで押したキーと違う文字が表示される。.....	41

■	キーボードの <code>かな</code> をロックしているのに、かなキーロック表示が表示されない。	41
■	98スライドパッドでタップ&ドラッグができない。	42
■	ダブルクリックしにくい。	42
95	キーの入力の速度を変更したい。	42
■	マウスポインタが見にくい。	43

フロッピーディスクドライブ

■	フロッピーディスクドライブが使用できない。	45
■	フロッピーディスクの内容が読み込めない。	45
■	フロッピーディスクへのデータの書き込みができない。	46
■	飲み物をこぼしてフロッピーディスクを汚してしまった。	46

ハードディスク

■	内蔵ハードディスクが使用できなくなった。	47
■	固定ディスク起動メニューを表示させたい。	47
95	ハードディスクの空き容量が不足してきた。	47
■	ハードディスクで領域確保できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない。	49
■	ハードディスクをメンテナンスする方法が知りたい。	49

印刷

■	プリンタが使用できない。	51
■	印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される。	51

インターネット/パソコン通信

95	インターネットに接続できない。	54
■	通信中に文字表示がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する。	59
■	シリアルコネクタに接続した通信機器が使えない。	59
95	通常の電話をFAXとして受信してしまう。	60
■	パソコン通信できない。	60
95	Exchangeを使用して送ったメールが文字化けしていた。	61
95	ファイルを添付したメールを送信したが、うまく送れなかった。	62
95	ファイルが添付されたメッセージの受信はできるが、表示できない。	62

サウンド

- 内蔵スピーカからの音が出ない、または大きすぎる。..... 63
- マイクホンを使用するとキーンと音が出る(ハウリング現象)。..... 64

本機の動作環境の設定

- メモリスイッチの設定が変更できない。..... 65

その他

- メモリチェックで表示されるメモリの容量が実際の容量より少ない。..... 66
- 表示される日付と時刻が正しくない。..... 66
- 95 本機に市販のWindows 3.1をインストールしようとする9枚目のフロッピーディスクで止まってしまう。..... 66
- 95 Windows 3.1をインストールしたが、正常に動作しない。..... 67
- アプリケーションソフトが起動しなくなった。..... 67
- 赤外線通信が正常に行えない。..... 68



Part 1

トラブルQ&A

セットアップ時のトラブル

本機起動時のトラブル

Windows 95の操作と設定

日本語入力

パソコン使用中のトラブル

バッテリー

サスペンド/レジューム機能

ハイバネーション機能

画面表示

キーボード、98スライドパッド

フロッピーディスクドライブ

ハードディスク

印刷

インターネット/パソコン通信

サウンド

本機の動作環境の設定

その他

セットアップ時のトラブル

Windows
95

誤ってサスペンドスイッチを押したり、電源をOFFにしてしまった。

セットアップ中に電源をOFFにしたりサスペンドスイッチを押したりすると、セットアップが中断してしまい、本機が使用できなくなることがあります。

・ 再度電源をONにすると修復セットアップの画面が表示され、セットアップが続行される場合。

→ 画面の指示に従ってください。

・ 再度電源をONにしても、「Non-System disk」などのエラーメッセージが表示されてセットアップが続けられる場合。

→ ご購入元にご相談ください。

Windows
95

ハードウェアの検出中にパソコンが応答しなくなった
(ハングアップした)

Windows 95 セットアッププログラムには、修復セットアップという機能があります。セットアップのハードウェアの検出中にコンピュータが停止した場合には、いったん電源をOFFにし、5秒以上待ってから電源を再度ONにします。本機再起動後、表示されるメッセージに従い修復セットアップを選択すると、問題が起きた処理がスキップされ(飛ばされ)セットアップが続行されます。



Windows 95 セットアップでは、さまざまな情報を入力したり、設定をしたりします。この際、正常に処理が行われていても数分～十数分画面が止まったように見えることがあります。誤って電源をOFFにしたりサスペンドスイッチを押したりしないように注意してください。

Windows
95

セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい。

Windows 95のセットアップ時に「ユーザ情報」で登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後は変更できません。

変更する場合は、Windows 95の再セットアップをする必要があります。再セットアップの方法は『再セットアップガイド』をご覧ください。

本機起動時のトラブル

Windows
95&3.1

電源がONにならない。

- case① サスペンド状態になっている。
→ サスペンド状態のときには、電源スイッチをスライドさせても本機の状態は変わりません。サスペンドスイッチを押してレジュームしてください。
- case② ACアダプタが接続されておらず、バッテリーパックも取り付けられていない。
→ ACアダプタを接続するか、または充電されているバッテリーパックを取り付けてください。
- case③ バッテリーパックで使用時、バッテリーの残量がなくなっている。
→ バッテリー残量がないときにはACアダプタを接続しないと電源をONにできません。ACアダプタを接続してください。

Windows
95&3.1

液晶ディスプレイに何も表示されない。

- case① ディスプレイの輝度やコントラストの設定が適切でない。
→ 輝度調節つまみを動かしてみてください。コントラスト調節つまみがある機種ではコントラスト調節つまみも調節してください。
- case② 別売のCRTディスプレイ接続時、640×400ドットの解像度で水平走査周波数が31kHzに設定されている。
→ 上記の場合は、本機の液晶ディスプレイには画面が表示されません。水平走査周波数を24kHzに設定してください。詳しくは『ステップアップガイド』のPart2をご覧ください。
- case③ CRTディスプレイにのみ表示可能な設定になっている。
→ 『ステップアップガイド』のPart2をご覧のうえ表示モードを変更してください。
- case④ 液晶ディスプレイで表示できない解像度になっている。
→ 『ステップアップガイド』のPart2をご覧のうえ解像度を変更してください。



上記の対策を行っても画面に何も表示されない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

1

トラブルQ&A

Windows
95&3.1

「ピポッ」という音がしない。

- case ① 内蔵スピーカのボリュームが小さくなっている。
→ 本機のスピーカ音量調節つまみで調節します。



上記の対策を行っても電源をONにしたときに「ピポッ」という音がしない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

Windows
95

「Windows が正しくシャットダウンされませんでした...どれかキーを押してください」と表示される。

- case ① 前回電源をOFFにしたときに正しく電源がOFFにならなかった。
- case ② サスペンドスイッチを押しながら電源スイッチをスライドした。
- case ③ サスペンドした内容が何らかの原因で失われてしまった。
→ どれかキーを押してください。SCANDISKが実行されて、ハードディスクの内容がチェックされます。
ハードディスクに異常がなければ、Windows 95が起動します。
ハードディスクに何か問題があって正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従ってください。再セットアップする必要がある場合は、『再セットアップガイド』をご覧ください。再セットアップしてください。

Windows
95&3.1

エラーメッセージが表示される。

- case ① 電源をONにすると「Non-System disk」と表示され、「ピー」と音が鳴りっぱなしになる。
→ システムが入っていないフロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにセットされています。
この場合は、フロッピーディスクを取り出してから電源をONにしなおすか、システムファイルが入ったフロッピーディスクと入れかえてから、再度電源をONにしてください。



- ・ システムファイルが入ったフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに入れて電源をONにした場合は、フロッピーディスクドライブがAドライブになります。
- ・ フロッピーディスクを本機から取り出して電源をONにしても「Non-System disk」が表示される場合は、ハードディスクのシステムが動作しなくなったか、ハードディスクの内容が消えてしまったか、ハードディスクのファイルが壊れてしまったと思われます。この場合は、OSやアプリケーションソフトを再セットアップしてください。再セットアップについてはPC-9821Nr13/S14、PC-9821Nr13/D14の場合は『再セットアップガイド』とアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。PC-9821Nr13/S14Zの場合は『ソフトウェア補足ガイド』とアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

case ② 電源をONにすると「SET THE SOFTWARE DIP-SWITCH」と表示される。

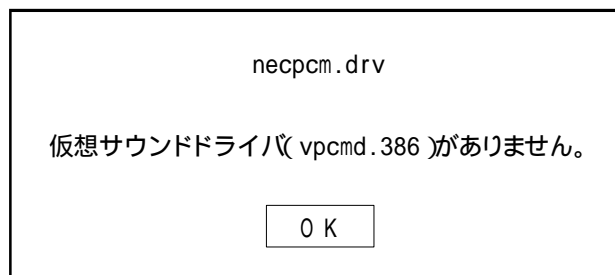
- この表示は、98NOTEメニューの内容が初期設定に戻っていることを表しています。この場合は、98NOTEメニューを起動して、98NOTEメニューの内容を設定し直してください。98NOTEメニューについては、『ステップアップガイド』のPart3をご覧ください。

Windows
3.1

Windows 3.1起動時に「仮想サウンドドライバ (vpcmd.386)がありません。」というエラーメッセージが表示される。

case ① 98NOTEメニューで「サウンド」を「使用しない」に設定している。

- 「仮想サウンドドライバ(vpcmd.386)がありません。」のダイアログボックスの「OK」ボタンをクリックしてください。



その後、Windows 3.1が起動しますので、Windows 3.1を終了して、98NOTEメニューで「サウンド」を「使用する」に設定してください。上記のエラーメッセージは表示されなくなります。

Windows
95&3.1

Windowsが起動しない。

- case ① 98NOTEメニューの「ディップスイッチの設定」でSW2-6(内蔵ハードディスク)が{ON}切り離す)になっている。
- 『ステップアップガイド』のPart3をご覧になり、98NOTEメニューの「ディップスイッチの設定」でSW2-6を{OFF}使用する)にしてください。

Windows
95&3.1

別売の周辺機器を増設したら本機が起動しなくなった。

- case ① 本機と周辺機器が正しく接続されていない。
- コネクタやネジなどがゆるんでいないか確認してください。接続については、『ステップアップガイド』のPart2および周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- case ② 割り込みレベルなどの設定に問題がある。
- 周辺機器の中には、本機に取り付ける際に割り込みレベル、DMAチャンネル、ROMアドレス空間の設定が必要となるものがあります。周辺機器が使用する割り込みレベルが本機ですでに使用されている場合、本機が起動しなくなったり、動作が不安定になったりします。このような場合は、本機または周辺機器のどちらかの設定を変更する必要があります。本機の割り込みレベル、DMAチャンネル、ROMアドレス空間の設定については、『ステップアップガイド』のPart3の「割り込みレベル・DMAチャンネル・ROMアドレス空間」で説明しています。周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。また、周辺機器の割り込みやドライバなどの設定をWindows 95で確認するときは、[スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]の順にクリックして[システム]アイコンをダブルクリックし、[システムのプロパティ]ウィンドウの[デバイスマネージャ]タブを表示させます。詳しくはWindows 95のヘルプをご覧ください。
- case ③ 周辺機器の設定に問題がある。
- 周辺機器によっては、設定スイッチの変更が必要な場合や、デバイスドライバなどのインストールが必要な場合があります。『ステップアップガイド』のPart2または周辺機器のマニュアルをご覧になり、必要な設定をしてください。

Windows
95&3.1

電源をOFFにできない。

case ① サスペンド/レジューム機能または、ハイバネーション機能を使えないアプリケーションソフトを使用中に、サスペンド状態またはハイバネーション状態にした。

- 電源スイッチをスライドさせながら同時にサスペンドスイッチを押して強制的に本機の電源をOFFにしてください。以降、そのアプリケーションソフトを使用するときにはサスペンドまたはハイバネーションしないでください。

Windows
95&3.1

パスワードを忘れてしまった。

パワーオンパスワードやセットアップパスワードが設定されているときにパスワードを忘れると、本機を使用できなくなったり98NOTEメニューを起動できなくなったりします。設定したパスワードは、忘れないようにしてください。

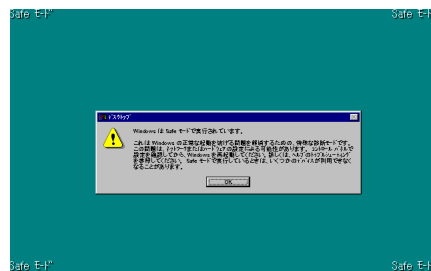


パワーオンパスワードやセットアップパスワードを忘れると、本機や98NOTEメニューを起動できなくなります。設定したパスワードは忘れないように控えておくことをおすすめします。パスワードを忘れてしまった場合には解除処置が必要ですので、Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください(『98あんしんサポートガイド』)。

- ・ パスワード解除処置は保証期間内でも有償です。
- ・ パスワード解除処置は原則としてお客様の持ち込みによる対応となります。また、機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り処置をお受けいたします。
- ・ パスワード解除処置を依頼されるときには、下記のをすべてご用意ください。
 - 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 - 身分証明(お客様ご自身を確認できるもの)
 - 印鑑
- ・ パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応いたしかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

「Windows 95起動メニュー」が表示され、Safeモードで起動した。

Windows 95起動メニューは起動時処理中に停電するなど、正常な起動ができなかった時に表示されます。そのまま放置すると「Safeモード」で起動します。Safeモードは、Windowsがうまく起動できない時に問題を解決するために使用するものです。画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。そのまま「スタート」ボタン-「Windowsの終了」-「コンピュータを再起動する」をクリックし、「はい」ボタンをクリックして、Windowsを再起動させてください。問題が解決されれば次の起動時には元の状態に戻ります。問題が解決しなかった場合は、システムが壊れている可能性があります。システムが壊れている場合は、再セットアップする必要があります。再セットアップの方法については『再セットアップガイド』をご覧ください。



Windows 95の操作と設定

Windows
95

アプリケーションソフトがインストールできない。

- case ① 本機で使用できないアプリケーションソフトをインストールしようとした。
- アプリケーションソフトの「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。アプリケーションソフトによっては、本機では動作しないものや別売の周辺機器が必要なものがあります。詳しくは、お使いのアプリケーションソフトの製造元にお問い合わせください。
- case ② アプリケーションソフトのインストール先がCDドライブになっている。
- アプリケーションソフトによっては、インストール先があらかじめCDドライブに設定されているものがあります。このような場合は、インストール先をお使いのハードディスクのドライブ名(本機のご購入時の状態では、AドライブまたはBドライブ)に変更して、インストールしてみてください。
- case ③ Windows 95上でMS-DOSまたはWindows 3.1用のプログラムをインストールしようとしている。
- MS-DOSまたはWindows 3.1用のプログラムの中には、Windows 95にはインストールできないものもあります。お使いのアプリケーションソフトの製造元にお問い合わせください。

1

トラブル
Q & A

ファイルが見つからない。

case ① 隠しファイルなど、ファイルを表示しない設定が有効になっている。

→ Windows 95の場合

[マイコンピュータ]や[エクスプローラ]の[表示] [オプション]で「すべてのファイルを表示」の (オフ)をクリックし、 (オン)にしてください。



保存したフォルダやファイルが、どこに保存されているのかわからなくなってしまった場合は、[スタート]ボタン-[検索] [ファイルやフォルダ]で探すことができます。



→ Windows 3.1の場合

ファイルマネージャの[表示] [ファイルの種類]の指定]で[隠しファイル/システムファイルも表示]をチェックしてください。

必要なファイルを消してしまった。


Windows 95には、ハードディスクに保存されていたフォルダやファイルを削除しても、一時的にフォルダやファイルを保管しておく「ごみ箱」という機能があります。間違っ
てフォルダやファイルを削除した場合は、「ごみ箱」アイコンをダブルクリックして、フォルダやファイルがハードディスクに残っていないかどうか確認してみましょう。
「ごみ箱」にフォルダやファイルが残っている場合は、復旧させたいフォルダやファイルを選択して、[ファイル]メニューの[元に戻す]で復旧できます。



「ごみ箱」アイコン



「ごみ箱」からファイルを復旧

- 
 ・ フロッピーディスクなどに保存されているフォルダやファイルは、削除しても「ごみ箱」に保管されないので復旧できません。
 また、「ごみ箱」のプロパティの「オプション」で「ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す」を (オン) にしている場合は、復旧できません。
- ・ Windows 3.1の場合は「Microsoftツール」グループの「UNDELETE」で復旧させることができます。詳しくは『Microsoft Windows 3.1/MS-DOS6.2クイックガイド』をご覧ください。

Windows 95

長いファイル名が使えない。

Windows 95では、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて半角で255文字までの「長いファイル名」を使用できます。Windows 95でMS-DOSやWindows 3.1のソフトウェアを使用した場合や、一部のソフトウェアでは長いファイル名は使えないことがあります。

Windows 95

Windows 95で「スタート」ボタンが表示されない。

case ① タスクバーの幅が狭くなり、「スタート」ボタンが表示されない状態になっている。

→ 次の手順でタスクバーの幅を広げて表示させてください。

1 マウスポインタを画面下に移動させます。

2 マウスポインタが図のような上下の矢印になったら上方向にドラッグします。





マウスポインタを画面下に移動する



タスクバーをドラッグして幅を広くする



タスクバーが幅広く表示され、「スタート」ボタンが表示されるようになります。

- 
 キーボードの  (Windowsキー) を押すと、タスクバーが見えていなくても「スタート」メニューを表示することができます。

case② タスクバーが「自動的に隠す」設定になっている。

- マウスポインタを画面の端まで移動すると、タスクバーが表示されます。
常にタスクバーを表示させておきたい場合は、[スタート]ボタン-[設定]-[タスクバー]で表示されるタスクバーのプロパティの「タスクバーオプション」タブで「自動的に隠す」をクリックして (オフ)にします。



 キーボードの  (Windowsキー) を押すと、タスクバーが見えていなくても「スタート」メニューを表示することができます。

Windows 95


Windowsパスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される。

case① 入力したパスワードが間違っている。

- 正しいパスワードを入力してください。パスワードを入力する際は、キーボードの かな や NUM、CAPS がロックされていないかどうか注意してください。

case② Windowsパスワードを忘れてしまった。

- Windowsパスワードを忘れてしまった場合は、[Windowsログオン]の画面で新しいユーザ名でログオンを行うか、Windows 95を再セットアップする必要があります。再セットアップの方法については『再セットアップガイド』をご覧ください。

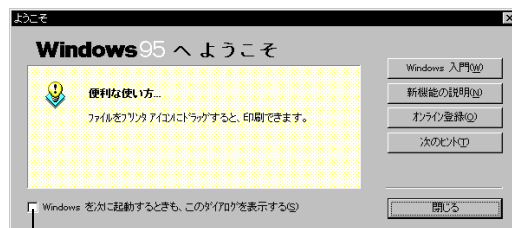
-  ・ [Windowsログオン]でパスワードの入力をせずに [キャンセル] ボタンをクリックした場合は、ネットワーク上の「パスワードの保存」などの機能が使えなくなります。
- ・ ご購入時の設定では、[Windowsログオン]の画面は表示されません。ネットワークの設定等を行うと表示されるようになります。

Windows
95

「Windows 95へようこそ」の画面を表示させたい。

[スタート]ボタン-[プログラム]-[アクセサリ]-[ヒントとツアー]をクリックすると、この画面を表示できます。

次回以降にWindows 95起動時に表示させる場合は、「Windowsを次に起動するときにこのダイアログを表示する」をクリックして (オン)にしてください。



ここをクリックして (オン)にする

Windows
95

デバイスマネージャで項目に赤い×マークが付いている。

ご購入時の設定により、次の項目には赤い×マークが表示されていますが異常ではありません。

- ・スタンダードディスプレイアダプタ (PC-9821シリーズ)
- ・FIR (NAFIRL001)



1

トラブルQ & A

ファイルの拡張子を表示させたい。

マイコンピュータやエクスプローラの [表示] [オプション] [表示] タブで登録されているファイルの拡張子は表示しないが (オン) になっていると、ファイルの拡張子は表示されません。ファイルの拡張子を表示させたいときは、クリックして (オフ) にしてください。



この画面は、マイコンピュータの [表示] [オプション] [表示] タブで表示される画面です。

ここをクリックして (オフ) にする

マイコンピュータでフォルダを開くたびに新しいウィンドウを表示させないようにしたい。

マイコンピュータの [表示] [オプション] [フォルダ] タブで別のフォルダを開くときに新しいウィンドウを作らないの (オフ) をクリックして (オン) にします。



ここをクリックして (オン) にする

MS-IME97 使用時、Windows 3.1 対応アプリケーションが使用できない。

MS-IME97を標準でご使用の状態ではWindows 3.1用のアプリケーションを実行すると、まれに(主にセットアップ時に)プログラムが停止する場合があります。

このような場合は次のように設定してください。

なお、通常は、次の操作は必要ありません。そのままWindows 3.1対応アプリケーションをお使いください。

また、次の操作は1つのアプリケーションに対して1度だけ行えば、以後毎回有効です。ただし、アプリケーションが異なった場合は、そのアプリケーションのために、再度次の操作を行う必要があります。



次の方法ではWIN.INIを変更しますので、「手順」を実行する前に、Windows 95のフォルダ(既定値では、A:¥WINDOWS)にあるWIN.INIのコピーを取っておくことをおすすめします。



Windows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックして表示されるメニューに、クイックビューアが存在しない場合には、クイックビューアがセットアップされていません。クイックビューアのセットアップを先に行ってください。

- 1 [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。
- 2 症状の起きたWindows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックします。
- 3 メニューから、[クイックビューア]をクリックします。
選択したWindows 3.1対応アプリケーションの情報(Technical File Information)を表示するウィンドウが開きます。
- 4 [Module Name:]の右側に表示されている文字をメモします。
ここでは仮に「ABC」とします。
- 5 [スタート]ボタン-[ファイル名を指定して実行...]をクリックします。
- 6 [名前]欄に「WIN.INI」と入力します。
- 7 [OK]ボタンをクリックします。
[メモ帳]が起動して、WIN.INIが表示されます。
- 8 [検索]メニューから[検索]をクリックします。
[検索]ダイアログが開きます。

- 9** [検索する文字列:]欄に「[Compatibility]」と入力します。
- 10** [次を検索]ボタンをクリックします。
本文内の「[Compatibility]」が選択されます。
- 11** [検索]ダイアログ内の「[キャンセル]」ボタンをクリックします。
- 12** キーボードの「[HELP]」を押します。
「[Compatibility]」の後ろにカーソルが移動します。
- 13** キーボードの「[Enter]」を押します。
新しい行が作成されます。
- 14** 手順4でメモした文字(ここではABC)を入力します。
- 15** 手順14で入力した文字に続けて「=0x00400000」を入力します。
手順13にて作成された行に次の内容が表示されます。
- ABC=0x00400000
- 16** [メモ帳]の「[ファイル]」メニューから「[上書き保存]」をクリックします。
- 17** [メモ帳]の「[ファイル]」メニューから「[メモ帳の終了]」をクリックします。
メモ帳が終了します。
- 18** [クイックビューア]の「[ファイル]」メニューから「[クイックビューアの終了]」をクリックします。
クイックビューアが終了します。


これでWindows 3.1対応アプリケーションがご使用になれます。

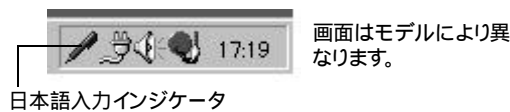
日本語入力

Windows
95&3.1

Windowsで日本語入力をするには？

日本語を入力するには日本語入力システムをオンにします。
日本語入力システムをオンにするには、次の方法があります。

- ・ キーボードの **CTRL** を押しながら **XFER** を押す。
- ・ タスクバーの日本語入力インジケータ  をクリックして **日本語入力-オン** をクリックする (Windows 95の場合のみ)



1

トラブルQ&A

Windows
95&3.1




日本語入力ができない。

case ① 日本語入力システムがオンになっていない。

- アプリケーションソフトによっては日本語入力をオンにしても、ウインドウが切り替わると、自動的に日本語入力をオフにするものがあります。


自動的にオフになった場合は、キーボードの **CTRL** を押しながら、**XFER** を押しください。Windows 95の場合は、タスクバーの日本語入力インジケータをクリックして **日本語入力-オン** をクリックして、日本語入力をオンにすることもできます。

case ② Windows 95で海外ゲーム対応ユーティリティの機能がオンになっている。


- 海外ゲーム対応ユーティリティをオンにすると日本語入力ができなくなります。タスクバーに表示されている  を左クリックして、 にして海外ゲーム対応ユーティリティをオフにしてください。または、 を右クリックし表示されたメニューから **終了** をクリックしてください。

Windows
95

CTRL を押しながら **XFER** を押しても、日本語入力システムのオン/オフができない。

case ①  (Windowsキー) を押した直後である。

- タスクバーの日本語入力インジケータ  をクリックして、日本語入力をオン/オフにしてください。

キーボードの  (Windowsキー) を押した後は、キーボードの **CTRL** を押しながら **XFER** を押しても、日本語入力システムのオン/オフはできません。



MS-DOSモードで別売のMS-DOS用の日本語入力システム(FEP)がうまく読み込めない。

→ CONFIG.SYSに次の一行を追加してください。

```
DEVICE=A: ¥WINDOWS ¥KKCFUNC.SYS
```



他の日本語入力システムに関する記述がCONFIG.SYS内にある場合は、それよりも前の行に追加するようにしてください。

なお、上記の方法で使用できるようになるのは、KKCFUNC.SYSに対応している日本語入力システムのみです。

CONFIG.SYSの編集のしかたは『ステップアップガイド』の付録をご覧ください。



日本語入力のツールバーを表示させたい。

→ Windows 95のタクスバーの日本語入力アイコン( または )をクリックするとメニューが表示されます。表示されたメニューから「ツールバーを表示」をクリックするとメニューの項目名に ✓ が表示され、日本語入力がオンのときにツールバーが表示されるようになります。



パソコン使用中のトラブル

Windows
95&3.1

本機使用中にACアダプタや本機底面が熱くなる。

case ① CPUの動作やバッテリー充電時の電流などによって発熱している。

- 本機使用中には本機底面が熱くなることがあります。また、バッテリーパックの充電中やバッテリー駆動中はバッテリーパックが熱くなることがあります。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。故障ではありませんが、ひざの上などで長時間使用しないでください。



ACアダプタや本機が普段よりも極端に熱くなった場合は、すぐに電源をOFFにして、電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。また、バッテリーパックを取り付けている場合は、バッテリーパックを取り外してください。次に、ご購入元、最寄りのBit-INNまたは当社指定のサービス窓口にご相談ください。

Windows
95&3.1

マウスやキーボードを操作しても動かなくなった。

case ① Windowsが停止している。

- マウスやキーボードを操作してもソフトウェアが反応しなくなってしまったときは、電源スイッチをスライドさせながらサスペンドスイッチを押すと強制的に本機の電源をOFFにすることができます。

この方法で電源をOFFにしたあと、再度電源をONにし直してください。ただし、この方法で電源をOFFにすると保存されていないデータは消えてしまいます。また、ディップスイッチの設定がご購入時の設定に戻っていることがあります。必要な場合は設定し直してください。

case ② アプリケーションソフトをたくさん開きすぎているためメモリが足りなくなっている。

- CASE1と同じ方法で本機を再起動するか、使用中のアプリケーションソフトを強制終了してください(P.75)
アプリケーションソフトを一度にたくさん開きすぎると動作が止まってしまうことがあるため、注意してください。

1

トラブルQ & A

バッテリー

Windows
95&3.1

ACアダプタを接続してもバッテリーの充電がはじまらない。

- case① バッテリーパックがフル充電されている。
 - 故障ではありません。バッテリーの過充電を防ぐために、バッテリーパックがフル充電やフル充電に近い状態では充電されません。
- case② バッテリーパックが接触不良を起こしている。
 - 本機からバッテリーパックをいったん取り外し、バッテリーパックの端子部分を柔らかい布で拭いてください。
- case③ ドライブベイにCD-ROMドライブが取り付けられている。
 - ドライブベイにCD-ROMドライブが取り付けられているときには電源ONの状態ではバッテリーを充電することはできません。

Windows
95&3.1

バッテリー容量の減少が極端に早い。

- case① バッテリーリフレッシュの必要がある。
 - バッテリーリフレッシュはバッテリーを完全に放電させてバッテリーパックの性能を復旧させる機能です。2～3カ月に一度バッテリーリフレッシュを行うことをおすすめします。バッテリーリフレッシュについては『ステップアップガイド』のPart3をご覧ください。
- case② バッテリーパックの交換時期になっている。
 - バッテリーリフレッシュを行ってもご購入時に比べてバッテリーでの使用時間が極端に短くなった場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。詳しくは『ステップアップガイド』のPart1の「バッテリー」をご覧ください。

Windows
95

タスクバーに電源アイコン(🔌や🔋)が表示されない。

case ① Windows 95での電源管理が設定されていない。

→ Windows 95で電源管理をしない設定になっています。Windows 95上でバッテリー残量を表示させるには、次の方法でWindows 95で電源管理をするように設定する必要があります。

- 1 [スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]の順にクリックし、[パワーマネジメント]アイコンをダブルクリックします。
- 2 [電源のプロパティ]ウィンドウで [パワーマネジメント] タブをクリックします。
- 3 [Windowsでコンピュータの電源管理をする]のチェックボックスをクリックして (オン) にします。
- 4 [詳細] ボタンをクリックします。
- 5 [詳細のプロパティ]ウィンドウの [トラブルシューティング] タブの [電源状態をポーリングしない] のチェックボックスをクリックして (オフ) にします。
- 6 [OK] ボタンをクリックします。
- 7 もう一度 [OK] ボタンをクリックします。
- 8 メッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。
- 9 [スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]の順にクリックし、[パワーマネジメント]アイコンをダブルクリックします。
- 10 [電源のプロパティ]ウィンドウで [パワーマネジメント] タブをクリックします。
- 11 [タスクバーにバッテリー状態を表示] をクリックして (オン) にします。
- 12 [OK] ボタンをクリックします。
これでタスクバーに電源アイコンが表示されます。

case ② バッテリーパックが取り付けられていない。

→ バッテリーパックが取り付けられていないと、タスクバーに電源アイコンは表示されません。バッテリーパックを取り付けてください。

1

トラブル
Q & A

Windows
95&3.1

フル充電されているはずなのに動作表示ランプが黄色 (バッテリー充電中) に点灯している。

- 故障ではありません。バッテリーは、わずかずつ自然放電しています。これを補充するため、フル充電から一定量放電されると、自動的に充電が始まります。このためACアダプタが接続されているときには動作表示ランプがまれに黄色に点灯することがあります。

Windows
95&3.1

バッテリー駆動にすると液晶ディスプレイが暗くなる。

- 故障ではありません。バッテリーパックだけで本機を使用している場合には、ACアダプタでの使用時に比べ液晶ディスプレイの明るさが自動的に抑えられます。



バッテリーの上手な使い方

バッテリーパックの寿命を長持ちさせるためには、次の点に注意しましょう。

- ・バッテリーをフル充電するときは残量がなくなりきってから充電してください。
- ・バッテリーがフル充電されないうちにバッテリーの充電を中断しないでください。
- ・2～3カ月に1回はバッテリーを充電してください。

本機を1ヵ月以上使用しない場合には、バッテリーパックの性能を維持するために本機から取り外し、涼しい場所に保管してください。

サスペンド/レジューム機能

Windows
95&3.1

サスペンド/レジューム機能が使えない。

- case① 電源スイッチで本機の電源をOFFにした。
→ 電源スイッチで電源をOFFにしたときにはサスペンドされません。
- case② バッテリーが消耗した。
→ バッテリーが消耗するとサスペンドの内容は失われます。できるだけ本機にACアダプタを接続して使用し、バッテリーの残量に注意してください。
- case③ Windowsのパワーマネージメントの設定がOFFになっている。
→ 『ステップアップガイド』Part1の『省電力機能』をご覧ください。
- case④ 市販のOSを使っている。
→ 市販のWindows 3.1とMS-DOS 6.2でサスペンド/レジューム機能を使うには、Windows 3.1とMS-DOS 6.2のアップグレードが必要です。アップグレードについて詳しくはPC-9821Nr13/S14、PC-9821Nr13/D14に添付の『再セットアップガイド』をご覧ください。
- case⑤ 98NOTEメニューまたは98NOTEメニューユーティリティの設定を変えた。
→ 98NOTEメニューまたは98NOTEメニューユーティリティで『サスペンドスイッチ』を『無効』にするとサスペンドスイッチによるサスペンドはできなくなります。詳しくは『ステップアップガイド』のPart3をご覧ください。

Windows
95&3.1

オートサスペンド(自動中断)を設定していても機能が働かない。

- case① 一定間隔で本機にアクセスする周辺機器を接続している。
→ 双方向通信をするプリンタ等、一定間隔で本機にアクセスする周辺機器を接続しているときにはオートサスペンド機能が働きません。
- case② Windows 95でCD-ROMの自動挿入が設定されている(CD-ROMドライブ増設時のみ)
→ CD-ROMの自動挿入が設定されていると、一定間隔でCD-ROMがチェックされるため時間設定による省電力機能が働きません。CD-ROMの自動挿入を□(オフ)にしてください。詳しくは『ステップアップガイド』のP.20をご覧ください。

1

トラブルQ&A

設定内容と異なる時間にオートサスペンド(自動中断)が働く。

case ① Windows 95で「自動中断」を設定した。

Windowsの「自動中断」と98NOTEメニューまたは98NOTEメニューユーティリティの「オートサスペンド」の設定は連動するため、後から設定した方の内容が有効になります。

→ Windows 95の場合

[コントロールパネル] [パワーマネージメント] [SLエンハンズドオプション] [自動中断] で設定してください。

→ Windows 3.1の場合

[メイングループ]の[コントロールパネル] [電源管理] [SLエンハンズドオプション]の[自動中断]で設定してください。

case ② 設定できない値を選んだ。

→ Windows 95のオートサスペンド(自動中断)で設定が有効となるのは5、9、13、17、21、25、29分のみです。これ以外の時間を設定したときには自動的に上記の値にくり上がって設定されます。

レジュームしようとしてサスペンドスイッチを押したら、ディスプレイに何も表示されず「ピッピッピ」と警告音が鳴った。

case ① 本機にパスワードが設定されている。

→ パスワードが設定されているときは、パスワードを入力しないとレジュームさせることができません。『ステップアップガイド』のPart1の「セキュリティ機能」をご覧ください。レジュームさせてください。なお、本機のスピーカのボリュームを最小にしていると、警告音が鳴りません。スピーカボリュームはなるべく最小にしないでください。

case ② サスペンド時とレジューム時の機器構成を変えた。

→ サスペンド時とレジューム時の機器の構成を変えると、レジューム時に警告音が鳴り、サスペンド/レジューム機能が正しく働かなくなることがあります。このようなときには、サスペンドスイッチでサスペンド状態にして、本機の機器構成をサスペンド時の状態に戻してください。

Windows
95&3.1

レジュームしようとしてサスペンドスイッチを押してもサスペンドの内容が表示されない。

- case① サスペンド/レジューム機能を使用できないアプリケーションソフトやPCカードを使っている。
- サスペンド/レジューム機能を使用できないアプリケーションソフトやPCカードの使用時には、サスペンド/レジューム機能を使わないでください。
- case② バッテリーの残量がなくなった。
- バッテリーの残量がなくなると、サスペンド内容が失われます。できるだけ本機にACアダプタを接続して使用し、バッテリーの保持時間には注意してください。
- case③ サスペンド時とレジューム時の機器構成が違い。
- サスペンド時に機器の構成を変えると、レジューム時に「RESUME FAILURE」と表示され、サスペンド/レジューム機能が正しく働かなくなることがあります。この場合は本機が自動的に再起動され、ファイルに保存されていなかったデータは失われます。
- case④ サスペンド/レジューム機能を使用できない周辺機器を接続して使用している。
- 使用する周辺機器によってはサスペンド/レジューム機能が使えない場合があります。上記のような機器の使用時にはサスペンド/レジューム機能を使わないでください。

Windows
95

Windows 95の[スタート]メニューに[サスペンド]が表示されない。

- case① [サスペンド]を表示しない設定になっている。
- [スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]-[パワーマネージメント]-[電源のプロパティ]ウィンドウの[パワーマネージメント]タブの[詳細]ボタンをクリックします。表示された[詳細のプロパティ]ウィンドウで[スタート]メニューの[サスペンド]コマンドの表示のチェックボックスをクリックして、 (オン)にします。また、[パワーマネージメント]タブで[Windowsでコンピュータの電源管理をする]のチェックボックスをクリックして (オン)にします。

Windows
95

LCD連動サスペンド/レジュームを設定してレジュームしようとしたとき、画面が乱れて電源がOFFになった。

case ① 前回、パソコンがWindows 95の終了処理を行っている最中に次のいずれかの操作を行った。

- ・液晶ディスプレイのフタを閉めた
- ・サスペンドスイッチを押した
- ・電源スイッチをスライドさせた

→ Windows 95の終了処理中にサスペンドした場合は、正しくレジュームできないことがあります。このようなときは電源スイッチをスライドして、電源をONにしてください。また、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従って操作してください。

Windows
3.1

レジュームした後にWindows 3.1を終了しようとしたら、途中で本機が動かなくなった。

case ① [コントロールパネル]の[電源管理]の[パワーマネジメント]の[標準]または[オフ]の設定にして、次のいずれかの操作を行った。

- ・液晶ディスプレイのフタを閉めた
(98NOTEメニューでLCD連動サスペンド/レジュームを設定時)
- ・サスペンドスイッチを押した

→ Windows 3.1でサスペンド/レジューム機能を利用する場合は、[パワーマネジメント]の[高度]に設定しておいてください。

ハイバネーション機能

Windows
95&3.1

「ハイバネーション機能は無効です」というメッセージが表示される。

- case ① ハイバネーション機能を設定していない。
- 『ステップアップガイド』のPart1の「ハイバネーション機能」をご覧ください。ハイバネーション機能を設定してください。
- case ② Windowsでコンピュータの電源管理をしない設定になっている。
- Windows 95の場合
[スタートボタン]-[設定]-[コントロールパネル]-[パワーマネージメント]で表示される[画面のプロパティ]の[パワーマネージメント]タブで、[Windowsでコンピュータの電源管理をする]のチェックボックスをクリックして (オン)にしてください。ここが (オン)になっていないと、Windows 95上では電源の管理ができません。
 - Windows 3.1の場合
[コントロールパネル]の[電源管理]の[パワーマネージメント]を[高度]に設定してください。

Windows
95&3.1

ハイバネーション機能の設定ができない。

- case ① 内蔵ハードディスクが使用できなくなっている。
- 外付けのハードディスクを使用している場合でも、98NOTEメニューの「ディップスイッチの設定」の「SW2-6 (内蔵ハードディスク)」がON (切り離す)になっていると、ハイバネーション機能が使用できません。
「ディップスイッチの設定」の「SW2-6 (内蔵ハードディスク)」をOFF (使用する) に設定してください。
- case ② ハードディスクの空き容量が不足している。
- ハイバネーション機能を使うには、ハードディスクの第一パーティション (通常はAドライブ) に作業内容を保存できるだけの空き容量が必要です。
Hibernation設定ユーティリティでエラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容に従って、ハードディスクの空き容量を増やしてから、再度ハイバネーション機能を設定してください。



ハードディスクの空き容量を増やす方法は、P.47をご覧ください。

1

トラブルQ&A

- case ③ Windowsの「MS-DOSプロンプト」ウィンドウで設定しようとしている。
MS-DOSプロンプトからは設定できません。
- Windows 95の場合
Windows 95を終了させ、MS-DOSモードから設定してください。
 - Windows 3.1の場合
MS-DOS 6.2の画面から設定してください。



ハイバネーションが実行できない。

- case ① 増設RAMボードの取り付け/取り外しをした。
- 本機に増設RAMボードを取り付けた/取り外したときは、ハイバネーション機能の再設定が必要です(『ステップアップガイド』のPart1の「ハイバネーション機能」)。
- case ② 本機内蔵ハードディスクをフォーマットしたり、再セットアップした。
- 本機内蔵ハードディスクをフォーマットした場合は、ハイバネーション機能の再設定が必要です(『ステップアップガイド』のPart1の「ハイバネーション機能」)。
また、Windows 95でカスタム再セットアップで内蔵ハードディスクの領域確保/領域削除を行うときに、「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)」をYにすると、ハイバネーション機能が使えなくなります。
- case ③ ハイバネーション状態のときに機器構成を変えた。
- ハイバネーション状態のときに機器の構成を変えると、ハイバネーション機能が正しく働かなくなることがあります。
このようなときには、電源スイッチで電源をOFFにして、機器構成を元の状態に戻してください。
- case ④ Windowsでパワーマネジメントの設定がOFFになっている。
- 『ステップアップガイド』のPart1の「省電力機能」を参照してパワーマネジメントの設定をONにしてください。

case ⑤ 市販のOSを使っている。

- 市販のWindows 95やWindows NTではハイバネーション機能は使えません。PC-9821Nr13/S14、PC-9821Nr13/D14に市販のWindows 3.1とMS-DOS 6.2をインストールしてハイバネーションを使用したい場合は、Windows 3.1とMS-DOS 6.2のアップグレードを行ってください。アップグレードについて詳しくは『再セットアップガイド』をご覧ください。

Windows
3.1

電源スイッチをスライドしてハイバネーション状態から復旧しようとする、「RESUME FAILURE」と表示され、自動的に再起動してしまう。

case ① [コントロールパネル]の[電源管理]の[パワーマネジメント]を[標準]または[オフ]の設定にしている。

- Windows 3.1でハイバネーション機能を利用する場合は、[パワーマネジメント]を[高度]に設定しておいてください。

1

トラブルQ&A

画面表示

Windows
95&3.1

電源をONまたはレジューム時に液晶ディスプレイに何も表示されない。

- case① ディスプレイの輝度やコントラストの設定が適切でない。
→ 輝度調節つまみを動かしてみてください。コントラスト調節つまみがあるモデルではコントラスト調節つまみも調節してください。
- case② 本機にパスワードが設定されている。
→ パワーオンパスワードが設定されているときにサスペンド状態にした場合には、サスペンドスイッチを押しても画面には何も表示されず、「ピッピッ」と音が鳴ります。『ステップアップガイド』のPart1の「セキュリティ機能」をご覧ください。パスワードを入力してください。正しいパスワードが入力されるとレジュームが行われます。
- case③ 別売のCRTディスプレイ接続時、640×400ドットの解像度で水平走査周波数が31kHzに設定されている。
→ 上記の場合は、本機の液晶ディスプレイには画面が表示されません。『ステップアップガイド』のPart2の「ディスプレイ/プロジェクタを使う」をご覧ください。水平走査周波数を24kHzに設定してください。
- case④ CRTディスプレイにのみ表示するように設定されている。
→ 液晶ディスプレイにも表示できるように表示先を切り替えてください。表示方法の切り替え方は『ステップアップガイド』のPart2の「ディスプレイ/プロジェクタを使う」をご覧ください。
- case⑤ 本機の液晶ディスプレイでは表示できない解像度が選択されている。
→ その解像度を表示できるCRTディスプレイを接続するか、本機の液晶ディスプレイに表示できる解像度に変更してください。解像度について詳しくは、『ステップアップガイド』のPart1の「表示機能」をご覧ください。



上記の対策を行っても画面に何も表示されない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

Windows
95

電源ON時に「ディスプレイ設定に問題があります」というエラーメッセージが表示される。

case ① 本機にCRTディスプレイを接続して、1,024×768ドットの解像度を選択し、そのままの状態でもCRTディスプレイを取り外した。

→ 上記の場合、次回電源ON時には「ディスプレイ設定に問題があります」というエラーメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックし、800×600ドット以下の解像度にしてからWindowsを再起動してください。

Windows
95

画面が乱れる。

case ① 動画データを再生中に他のソフトウェアを実行させた。

→ メディアプレーヤなどで動画データを再生中に、他のソフトウェアを実行させると、画面が乱れる原因となります。

動画データの再生中は他のソフトウェアを実行させないでください。

Windows
95&3.1

表示された文字が読みづらい。

case ① 液晶ディスプレイの角度が適切でない。

→ 『ステップアップガイド』の「健康のために」をご覧ください。液晶ディスプレイの角度を見やすい角度に調節してください。

case ② ディスプレイの輝度やコントラストの設定が適切でない。

→ 輝度調節つまみを動かしてみてください。コントラスト調節つまみがあるモデルではコントラスト調節つまみも調節してください。

case ③ Windows 95で密度変換機能を使用している。

→ Windows 95の密度変換ユーティリティを使用すると、文字や罫線の太さが不均一になり、多少読みづらく感じられることがあります。

1

トラブル
Q & A

case④ 液晶ディスプレイにムラやチラツキがある。

→ 液晶ディスプレイは、その特性上、見る角度や輝度の調節状態、照明器具などからの光の入射角、周囲の温度、装置ごとの個体差などによって、明るさが若干違って見えることがあります。故障ではありません。

case⑤ 文字の一部が表示されない。

→ テキスト画面の左端に表示された文字の一部が見えにくくなる場合があります。故障ではありません。



電源ON後しばらくすると、画面が真っ暗になる。

case① ディスプレイの省電力機能が働いた。

→ この場合は、キーボードのキーを押すか、98スライドパッドなどのポインティングデバイスを動かしてください。画面が再度表示されます。

ディスプレイの省電力機能の設定について詳しくは『ステップアップガイド』Part1の「省電力機能」をご覧ください。

case② 98NOTEメニューまたは98NOTEメニューユーティリティの「省電力の設定」で「液晶ディスプレイ自動停止」が「設定する」になっている。

→ 『ステップアップガイド』のPart3をご覧ください。「液晶ディスプレイ自動停止」を「設定しない」にしてください。

case③ パワーマネージメントのSLエンハンスドオプションの「自動中断」が設定されている。

→ Windows 95の場合

[スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]の[電源]アイコンをダブルクリックして[SL]ボタンをクリックして表示される[SLエンハンスドオプション]の画面で[自動中断]のチェックボックスをクリックして (オフ)にしてください。自動中断されなくなります。

→ Windows 3.1の場合

[メイン]グループの[コントロールパネル]の[電源管理]の[オプション]ボタンをクリックして表示される[SLエンハンスドオプション]の画面で[自動中断]のチェックボックスをクリックして (オフ)にしてください。自動中断されなくなります。

Windows
95&3.1

ディスプレイの省電力機能が設定できない。

case ① Windowsでコンピュータの電源管理をしない設定になっている。

→ Windows 95の場合

[スタート ボタン]-[設定]-[コントロールパネル]-[パワーマネージメント]で表示される画面のプロパティ]の[パワーマネージメント]タブで、[Windowsでコンピュータの電源管理をする]のチェックボックスをクリックして (オン)にしてください。

→ Windows 3.1の場合

[コントロールパネル]の[電源管理]の[パワーマネジメント]の[高度]に設定します。

case ② 98NOTEメニューでディスプレイの制御をしている。

別売のCRTディスプレイでは98NOTEメニューでの設定は有効になりません。

別売のCRTディスプレイの省電力機能は次のように設定してください。

→ Windows 95の場合

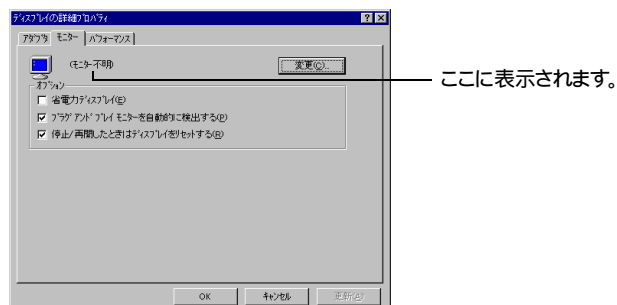
[コントロールパネル]の[画面 アイコン]をダブルクリックして表示される画面のプロパティ]で設定してください。

→ Windows 3.1の場合

[コントロールパネル]の[画面のデザイン]の[スクリーンセーバー]の[パワーマネージメント]に設定してください。

case ③ Windows 95で[ディスプレイの詳細のプロパティ]の[モニター]タブで[モニター不明]が選択されている。

→ [コントロールパネル]の[画面 アイコン]-[ディスプレイの詳細]タブで[詳細プロパティ]ボタンをクリックして表示される[ディスプレイの詳細プロパティ]の[モニター不明]と表示されている場合は、ディスプレイの設定が正しくないことを表しています。



『ステップアップガイド』のPart2の『ディスプレイに合わせて本機を設定する』をご覧ください。ディスプレイを設定し直してください。

1

ト
ラ
ブ
ル
Q
&
A

Windows
95

ディスプレイの解像度などの変更をする際、「ディスプレイの種類が指定されていません」というメッセージが表示される。

case ① [ディスプレイの詳細プロパティ]の[モニター]タブに[モニター不明]と表示されている。

→ [コントロールパネル]-[画面]-[ディスプレイの詳細]タブで[詳細プロパティ]ボタンをクリックして表示される[ディスプレイの詳細プロパティ]ウィンドウで[モニター不明]と表示されている場合は、正しくディスプレイの設定ができていないことを表しています。

『ステップアップガイド』のPart2の「ディスプレイに合わせて本機を設定する」をご覧ください。になり、ディスプレイの設定を直してください。

Windows
95

液晶ディスプレイ自動停止機能(ディスプレイのバックライト消灯)が働かない。

case ① Windows 95でCD-ROMの自動挿入が設定されている(CD-ROMドライブ増設時のみ)。

→ CD-ROMの自動挿入が設定されていると、一定間隔でCD-ROMがチェックされるため時間設定による省電力機能が働きません。

CD-ROMの自動挿入を (オフ) にしてください。詳しくは『ステップアップガイド』のP. 20をご覧ください。

Windows
95

密度変換機能が使えない。

case ① 市販のOSを使っている。

→ 密度変換機能は本機にインストールされているWindows 95でのみ使用できます。市販のOSをインストールして使用しているときには密度変換機能を使用することは出来ません。

表示できるはずの高解像度が選択できない。

別売のプラグアンドプレイ(DDC)対応ディスプレイモニター接続時、ディスプレイの機種によっては1,024×768ドット以上の高解像度等、一部の表示モードを選択できない場合があります。

この場合は、次の手順で解像度を選択してください。

- 1 ディスプレイを接続し、Windows 95を起動します。
起動時にモニターが検出されたことを表すメッセージが表示されます。
- 2 [スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]の順にクリックします。
- 3 [画面]アイコンをダブルクリックし、[ディスプレイの詳細]タブをクリックします。
- 4 [詳細プロパティ]ボタンをクリックし、[モニター]タブをクリックします。
- 5 [オプション]の[プラグアンドプレイモニターを自動的に検出する]をクリックして (オフ)にします。



ここをクリックして (オフ)にする

- 6 [OK]ボタンをクリックして、再度[OK]ボタンをクリックします。
- 7 [スタート]ボタン-[Windowsの終了]の順にクリックし、[コンピュータを再起動する]をクリックして[はい]ボタンをクリックします。
- 8 Windowsが再起動したら、[スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]の順にクリックします。
- 9 [画面]アイコンをダブルクリックし、[ディスプレイの詳細]タブをクリックして[詳細プロパティ]ボタンをクリックします。
- 10 [モニター]タブをクリックして、[変更]ボタンをクリックします。

11 [すべてのデバイスを表示]がある場合はクリックします。



12 製造元 [H] モデル を選択します。

製造元には接続したディスプレイの製造元を選択してください。モデルには、接続したディスプレイに対応した項目を選択してください。詳しくはディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。



ディスプレイ一覧に接続したディスプレイの種類が表示されない場合は、[製造元] に(スタンダードモニター)を選択し、[モデル]からは接続したディスプレイで表示可能な解像度を選択してください。

13 OK ボタンをクリックし、さらに [閉じる] ボタンをクリックしてください。

14 再度 OK ボタンをクリックします。

15 Windowsを再起動するようメッセージが表示される場合は、他のアプリケーションが終了していることを確認して [はい] ボタンをクリックしてください。

Windows
95



Windows 95でハードウェアウィザードを起動してドライバのインストールを実行して再起動したら、640 x 480 ドットの表示になった。

case ① ディスプレイアダプタに「スタンダードディスプレイアダプタ (9821シリーズ)」が選択されている。

→ 次の方法でお使いの機種に適したディスプレイアダプタに変更してください。

1 [スタート] ボタン-[設定] [コントロールパネル] の順にクリックします。

2 [システムアイコン]をダブルクリックし、[デバイスマネージャ] タブをクリックします。

- 3 [ディスプレイアダプタ]の下の[PC-9821**/**] [**/**にはそれぞれお使いの機種に対応した型名が入ります]をダブルクリックして、[このハードウェア環境で使用不可にする]のチェックボックスをクリックして、 (オフ)にして、[OK] ボタンをクリックします。
 - 4 [ディスプレイアダプタ]の下の[スタンダードディスプレイアダプタ(9821シリーズ)]をダブルクリックして、[このハードウェア環境で使用不可にする]のチェックボックスをクリックして (オン)にして、[OK] ボタンをクリックします。
 - 5 [閉じる] ボタンをクリックします。
 - 6 [スタート] ボタン-[Windowsの終了]の順にクリックし、[コンピュータを再起動する]をクリックして[はい] ボタンをクリックします。本機が再起動します。
 - 7 [スタート] ボタン-[設定] [コントロールパネル]の順にクリックし、[画面 アイコン]をダブルクリックします。
 - 8 [ディスプレイの詳細] タブをクリックします。
 - 9 [デスクトップ領域]のをドラッグしてご購入時の解像度にします(ご購入時の解像度については『ステップアップガイド』のPart1の「表示機能」をご覧ください)。
 - 10 [OK] ボタンをクリックし、さらに次の画面でも[OK] ボタンをクリックします。
 - 11 [はい] ボタンをクリックします。
-  ・ 15秒以内に[はい] ボタンをクリックしないと元の画面に戻ります。
・ 解像度や表示色によっては再起動のメッセージが表示されます。メッセージに従って再起動してください。

表示が切り替わり、ご購入時の状態の表示に戻ります。

キーボード、98スライドパッド

Windows
95&3.1

ポインティングデバイスを動かしても反応しない。

- case① 98NOTEメニューまたは98NOTEメニューユーティリティの「入出力デバイスの設定」で「98スライドパッド」が「使用しない」になっている。
- 98NOTEメニューまたは98NOTEメニューユーティリティの「入出力デバイスの設定」で「98スライドパッド」が「使用しない」になっているときには、98スライドパッドは使用できません。98スライドパッドを使うときには、「使用する」にしてください。
- case② 指先やパッドが汚れている。
- 98スライドパッドで操作するとき指先やパッドに水分や油分がついていると、マウスポインタが正常に動作しません。この場合は汚れを拭き取ってから操作してください。
- case③ パッドの2カ所以上に同時に触れている。
- パッドの2カ所以上に同時に触れると98スライドパッドが正常に動作しません。
- case④ Windows 95でマウスの左右ボタンの設定が「左きき用」になっている。
- 左右ボタンの設定を変更し、「左きき用」に変更するとタップ&ドラッグができなくなります。タップ&ドラッグ機能を使用する場合は、コントロールパネルの「マウス」での設定を元に戻して使用してください。

Windows
95&3.1

スライドパッドが正しく動作しない。

スライドパッドには軽く触れただけでも操作が入力される場合があります。誤って重要なファイルなどを削除してしまわないように気を付けてください。

Windows
95&3.1

突然キー入力や98 スライドパッドの操作ができなくなった。

case ① Windowsがプログラムの処理をしているため、キー入力や98スライドパッドの操作を受け付けられない。

→ 本機の処理機能を使いきってしまうようなアプリケーションソフトなどを使用すると、一時的にキーボードからの入力や98スライドパッドの操作が受け付けられなくなることがあります。この場合は、処理が終わるまでしばらく待ってみてください。



Windowsがプログラムの処理をしているときは、マウスポインタが砂時計の形などに変わります。



砂時計のマウスポインタ

case ② Windows が止まってしまっ(ハングアップして)いる。

→ プログラムの予想外の動作によって、Windows の動作が止まってしまうことがあります。この場合は原因となったアプリケーションソフトを強制的に終了することで、Windowsの操作が続けられます(P. 75 強制終了の方法)。ただし強制終了した場合、保存されていないデータは消えてしまいます。

Windows
95&3.1

別売のキーボードが動かない、または使えないキーがある。


case ① キーボードの設定が正しくない。

→ Windows 95や98NOTEメニューで次の設定を行ってください。



Windows 3.1をご使用の場合はキーボードに添付されているマニュアルをご覧ください。

Windows 95での設定方法

1 [スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]をクリックし、[キーボード]アイコン()をダブルクリックします。

2 [情報]タブをクリックします。

3 [変更]ボタンをクリックします。

4 [モデル]に表示されている一覧の中から使用するキーボードをクリックします。使用するキーボードが一覧にない場合には[すべてのデバイスを表示]をクリックします。インストールモデルをお持ちの場合には[ディスク使用]をクリックします。詳しくはキーボードに添付のマニュアルをご覧ください。設定が終了すると「再起動しますか」というメッセージが表示されます。

5 [はい]をクリックします。
本機が再起動します。



この方法で設定すると、本機のキーボードも使用できますが、使えなくなるキーがある場合があります。

98NOTEメニューでの設定方法

1 98NOTEメニューを起動します。

2 [入出力デバイスの設定]で「キーボード設定」を[外付け]にします。

3 98NOTEメニューを終了させます。






この方法で設定すると、本機のキーボードは使えなくなります。

Windows
95

Windows 95用海外ゲームでキー入力を正常に行うには？

本機にはWindows 95用海外ゲームでキー入力を正常に行うためのユーティリティが用意されています。ゲームを起動する前に、[スタート]ボタン-[プログラム]-[海外ゲーム対応ユーティリティ]-[海外ゲーム対応ユーティリティ]をクリックします。詳しくは、[スタート]ボタン-[プログラム]-[海外ゲーム対応ユーティリティ]-[お読みください]をクリックして表示される内容をお読みください。

なお、一度、海外ゲーム対応ユーティリティをオンにすると、タスクバーに[海外ゲーム対応ユーティリティ]アイコンが表示されるようになります。また、海外ゲーム対応ユーティリティがオンの間は、日本語入力が行えなくなりますので注意してください。日本語入力を行いたい場合は、タスクバーに表示されているを左クリックしにして、海外ゲーム対応ユーティリティをオフにしてください。




または、を右クリックし表示されたメニューから[終了]をクリックしてください。



海外ゲームアプリケーションによっては、海外ゲーム対応ユーティリティを使用しても、キーボード入力が正しく動作しないものがあります。



キーボードで押したキーと違う文字が表示される。

- case ① キーボードの **かな** または **NUM** がロックされている。
- **かな** がロックされていると、キーボードのひらがなの文字が入力されます。**NUM** がロックされていると、キーボードの画面の文字が入力されます。ロックを解除するときは、キーボードの **かな** または **NUM** を一度押します。
- case ② 日本語入力モードになっている。
- 英数字を入力する場合は、キーボードの **CTRL** を押しながら **XFER** を押して、日本語入力モードをオフにします。
- case ③ Windows 95で海外ゲーム対応ユーティリティの機能がオンになっている。
- 海外ゲーム対応ユーティリティをオンにすると日本語入力ができなくなります。タスクバーに表示されている  を左クリックして、 にして海外ゲーム対応ユーティリティをオフにしてください。または、 を右クリックし表示されたメニューから **終了** をクリックしてください。



キーボードの **かな** をロックしているのに、かなキーロック表示が表示されない。

オペレーティングシステムの一つのOS/2を起動している場合、かなキーの状態は、各



キーのロックと表示される文字

キーボードの **CAPS** や **かな** をロックしているときに **B O O K** とキーボードのキーを押した場合、それぞれ次のように表示されます。

何もロックされていない場合	book
CAPS キーロックの場合	B O O K
かな キーロックの場合	㇀㇀㇀
日本語入力モードの場合	ぼおk

Windows
95&3.1

98スライドパッドでタップ&ドラッグができない。

Windowsの場合

- case ① 98NOTEメニューまたは98NOTEメニューユーティリティの「入出力デバイスの設定」で「タップ&ドラッグ機能」が「無効」になっている。
- 98NOTEメニューまたは98NOTEメニューユーティリティの「タップ&ドラッグ機能」を「有効」にしてください。
- case ② Windows 95の「スタート ボタン」[設定] [コントロールパネル] [マウス]で左右ボタンの設定が「左きき用」になっている。
- 「スタート ボタン」[設定] [コントロールパネル] [マウス]で左右ボタンの設定を変更し、「左きき用」に変更するとタップ&ドラッグができなくなります。タップ&ドラッグ機能を使用する場合は、設定を元に戻して使用してください。

MS-DOSの場合

- case ① MS-DOSアプリケーションで左右ボタンの設定を変更した。
- MS-DOSアプリケーションを終了してWindows 95の画面に戻ったとき、スライドパッド上でのタップやドラッグができないことがあります。
この場合は、Windows 95の「マウスのプロパティ」ウィンドウでボタンの設定を変更してください。

Windows
95&3.1

ダブルクリックしにくい。

ダブルクリックの速度を好みの速度に変更すると、ダブルクリックがしやすくなります。スライドパッド上でダブルタップする場合は、ダブルクリックの速度をやや遅めに設定することをおすすめします。Windowsの「コントロールパネル」の「マウス」で設定を変更できます。

Windows
95

キーの入力の速度を変更したい。

入力した文章を表示するまでの待ち時間や、表示の間隔を調整することができます。Windows 95の「コントロールパネル」の「キーボード」で調整します。

Windows
95&3.1

マウスポインタが見にくい。

case ① マウスの表示速度が適切ではない。

表示速度を遅くしたり、表示するとき軌跡を残すように設定することで、マウスポインタが見やすくなる場合があります。

→ Windows 95の場合

[スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]-[マウス]の[動作]でマウスポインタの表示速度を調節できます。



[ポインタ]の画面でマウスポインタの大きさを変えることもできます。

→ Windows 3.1の場合

Windows 3.1では[メイン]グループの[コントロールパネル]の[マウス]で設定します。

1

ト
ラ
ブ
ル
Q
&
A



アプリケーションキーとWindowsキーについて


Windows
95










アプリケーションキーとWindowsキーはWindows 95で使用できるキーです。アプリケーションソフトによってどのように利用するかは異なりますが、Windows 95を使用するときには標準で次のような機能が割り当てられています。

(アプリケーション) キー

画面をポイントしてアプリケーションキーを押すと、右クリックしたときと同じことになります。

(Windows) キー

- ・  キーだけを押しと「スタート」メニューを表示します。
- ・ 他のキーと組み合わせると、次のような機能を利用することができます。

 + R	[ファイル名を指定して実行] ウィンドウを表示する
 + M	現在起動しているウィンドウをすべてアイコン化する
SHIFT +  + M	 + M でアイコン化したウィンドウを元に戻す
 + f+1	Windowsのヘルプを起動する
 + F	ファイルやフォルダを検索するウィンドウを表示する
CTRL +  + F	コンピュータを検索するウィンドウを表示する
 + TAB	タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替える
 + STOP	[システムプロパティ] ウィンドウを表示する

フロッピーディスクドライブ

Windows
95&3.1

フロッピーディスクドライブが使用できない。

case① 本機にFD I/Oロックが設定されている。

- フロッピーディスクドライブを使用するときは、98NOTEメニューを起動して「セキュリティの設定」でFD I/Oロックを「設定しない」にしてください。詳しくは、『ステップアップガイド』のPart3の「システムの設定を変える」の「セキュリティの設定」をご覧ください。

Windows
95&3.1

フロッピーディスクの内容が読み込めない。

case① フロッピーディスクが正しくセットされていない。

- ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、フロッピーディスクドライブの奥まで入れてください。

case② フォーマット形式の異なる他のOS用のフロッピーディスクがセットされている。

- 起動しているOSで使用できるフロッピーディスクをセットし直します。

case③ フォーマットされていない新品のフロッピーディスクがセットされている。

- フロッピーディスクをフォーマットするか、フォーマット済みのフロッピーディスクを使います。

case④ フロッピーディスクドライブのヘッドが汚れている。

- 別売のクリーニングディスクを使ってヘッドの掃除をしてください。



クリーニングディスクについては、ご購入元またはNECサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。

case⑤ フロッピーディスクの内容が壊れている。

- この場合、復旧は困難です。フロッピーディスクの内容が壊れたときに備えて、バックアップをとっておくようにしましょう。

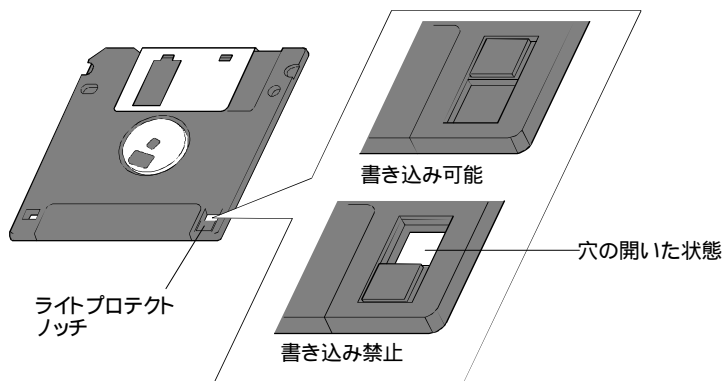
1

トラブルQ&A

Windows
95&3.1

フロッピーディスクへのデータの書き込みができない。

ライトプロテクトノッチがPROTECT(書き込み禁止)になっているとフロッピーディスクへのデータの書き込みができなくなります。この場合、ライトプロテクトノッチをPERMIT(書き込み可能)の方にずらします。



システムディスクなど大切なフロッピーディスクの場合は、本当に書き込みをしてよいか、もう一度確認しましょう。

Windows
95&3.1

飲み物をこぼしてフロッピーディスクを汚してしまっ た。

本機の故障の原因となるため、汚れたフロッピーディスクは使用しないでください。フロッピーディスクを汚してしまい、保存しておいたデータが使えなくなってしまう場合に備えて、バックアップ(コピー)をとっておくようにしましょう。

ハードディスク

Windows
95&3.1

内蔵ハードディスクが使用できなくなった。

case ① 98NOTEメニューの設定で、本機の内蔵ハードディスクが使用できない状態になっている。

→ 98NOTEメニューの「ディップスイッチの設定」で、SW2-6(内蔵ハードディスクがON(切り離す)に設定されていると、内蔵ハードディスクが使用できません。98NOTEメニューについては、『ステップアップガイド』のPart3をご覧ください。



上記の対策を行っても内蔵ハードディスクが使用できない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

Windows
95&3.1

固定ディスク起動メニューを表示させたい。

固定ディスク起動メニューとは、電源ON時に起動するドライブを選択するメニューのことです。

固定ディスク起動メニューを表示させる方法は、『再セットアップガイド』の付録の「固定ディスク起動メニューの利用」をご覧ください。

上記の手順を行っても表示されない場合は、キーボードの[HELP]を押しながら電源をONにして、98NOTEメニューを起動します。98NOTEメニューの「ディップスイッチの設定」でSW2-5(メモリスイッチを「初期化する」に変更してください。設定と同時に変更が有効になります。詳しくは『ステップアップガイド』のPart3をご覧ください。

Windows
95

ハードディスクの空き容量が不足してきた。

ハードディスクの空き容量を増やすには、次の方法があります。

「ごみ箱」を空にする。または「ごみ箱」の最大サイズを小さくする。

Windows 95では、ファイルを削除すると、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」にファイルが移動します。

この機能により、うっかりファイルを消してしまっても、復旧が簡単にできますが、その分ハードディスクの空き容量が減ります。この場合は、「ごみ箱」を空にするか、「ごみ箱」の最大サイズを小さくしてください。

1

トラブルQ&A

「ごみ箱」の設定は[ごみ箱 アイコン]を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をクリックして表示される[ごみ箱のプロパティ]ウィンドウで行います。



TEMP フォルダの中身をチェックする。

アプリケーションソフトによっては、実行中に一時作業用ファイル(テンポラリファイルと呼ばれます) が作成され、通常は終了時に消去されます。このようなアプリケーションソフトを使用中に強制終了してしまった場合、一時作業用ファイルがハードディスクに残り、ハードディスクの空き容量が少なくなってしまうことがあります。

一時作業用ファイルは通常、Windows フォルダの一階層下のTEMP フォルダに作成されます。このファイルを削除すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。



- ・ アプリケーションソフトを実行中は、一時作業用ファイルは削除しないでください。アプリケーションソフトが動かなくなることがあります。
- ・ インターネットエクスプローラのテンポラリファイルを削除することで空き容量を増やすことができます。

ドライブスペースを利用する。

ドライブスペースを使ってハードディスクを圧縮すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。

詳しくは、『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』をご覧ください。



Windows
95&3.1

ハードディスクで領域確保できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない。

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1Mバイト=1,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域確保する際には、1Mバイト=1,024×1,024=1,048,576バイトで計算していますので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありませんので、使用上問題はありません。

Windows
95&3.1

ハードディスクをメンテナンスする方法が知りたい。

ハードディスクを長時間使用している間に、まれにハードディスク自体や保存されているデータに障害を起こすことがあります。しかし、小さな障害であれば、付属のユーティリティを使うことですぐに復旧することができます。小さな障害であっても、放置すると被害が拡大する恐れがあります。これを防ぐために、こまめにハードディスクをメンテナンスするようにしましょう。

メンテナンスをするためのユーティリティには、ドライブのエラーをチェックするための「スキャンディスク」と、データの記録場所を整理する「デフラグ」の2つがあります。

スキャンディスク

スキャンディスクを使うと、ハードディスク自体やハードディスクに保存されているデータに障害がないかどうかを調べることができます。

Windows 95では[スタート]ボタン-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[スキャンディスク]の順にクリックすると、スキャンディスクを起動することができます。

詳しくは『Microsoft Windows 95ファーストステップガイド』をご覧ください。



Windows 3.1では『Microsoft Windows 3.1/MS-DOS6.2クイックガイド』をご覧のうえ、SCANDISKコマンドをご利用ください。

ハードディスクやフロッピーディスクなどを長い間使っていると、データが空いている場所に、ばらばらに保存されるようになります。データが連続していないと、データを読み書きする時間が長くなります。デフラグを使うと、このようなばらばらになったデータを、最適な場所に整理することができます。

Windows 95では、[スタート] ボタン - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [デフラグ] の順にクリックするとデフラグを起動できます。

詳しくは『Microsoft Windows 95ファーストステップガイド』をご覧ください。



Windows 3.1では『Microsoft Windows 3.1/MS-DOS6.2クイックガイド』をご覧のうえ、DEFRAGコマンドをご利用ください。



デフラグの実行中は、絶対に本機の電源をOFFにしたりサスペンド状態やハイバネーション状態にしたりしないでください。

不良セクタ、スキップセクタについて

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所があることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」といいます。

Windowsの「スキャンディスク」やMS-DOSのCHKDSKコマンドを実行すると「不良セクタ」または「スキップセクタ」と表示されることがありますが、これは不良セクタ、スキップセクタを使わないように予防されたことを表しており、異常ではありません。ハードディスクの正常な容量については『ステップアップガイド』のP. 179をご覧ください。



バックアップについて

本機に内蔵されているハードディスクは、非常に精密に作られています。毎分数千回転するディスク面と情報を読みとる磁気ヘッドの間は、わずか数ミクロン(1ミクロンは1/1000ミリ)しか空いていません。このため、ステータスインジケータのハードディスク表示が点滅中(ハードディスクのアクセス中)には、少しの衝撃でも故障の原因となることがあります。

大切なデータを保護するためにも、バックアップをこまめにとることをおすすめします。

印刷

Windows
95&3.1

プリンタが使用できない。

- case ① 本機にプリンタ I/Oロックが設定されている。
→ プリンタを使用するときは、98NOTEメニューを起動して「セキュリティ機能の設定」でプリンタ I/Oロックを「設定しない」にしてください。

Windows
95&3.1

印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される。

プリンタで正常に印刷できない場合は、大きく分けて次の2種類の原因が考えられます。

- ・ プリンタの接続などのハードウェアに問題がある場合
- ・ プリンタドライバの設定が間違っているなどソフトウェアに問題がある場合

ハードウェアに問題がある場合

- case ① プリンタの電源がOFFになっている。
→ プリンタのマニュアルをご覧になり、電源をONにしてください。
- case ② プリンタが用紙切れ、トナー切れになっている。
→ プリンタのマニュアルをご覧になり、用紙やトナーを補充してください。
- case ③ プリンタが印刷可能「オンライン」になっていない。
→ プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。
プリンタのマニュアルをご覧になり、設定を確認してください。
- case ④ プリンタ本体の印字テストを行っても、正常に印刷できない。
→ プリンタには通常、プリンタ単体で印字テストをする機能があります。この機能を使ってプリンタのチェックをしてみてください。印字テストができない場合、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。
- case ⑤ プリンタメーカー推奨のプリンタケーブルを使用していない。
→ プリンタの中にはプリンタ製造元の指定したケーブルを使用しないと印刷に不具合が発生するものもあります。プリンタのマニュアルをご覧になり、ケーブルを確認してください。

1

トラブルQ&A

ソフトウェアに問題がある場合

case① プリンタがセットアップされていない。

→ 新規にプリンタを接続した場合は、プリンタのセットアップを行う必要があります。詳しくは、『ステップアップガイド』のPart2の「プリンタを使う」をご覧ください。



Windows 95でプラグ&プレイ対応のプリンタを接続した場合であっても、「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示されることがあります。その場合には、「完了」ボタンをクリックしてドライバのインストール画面を終了し、『ステップアップガイド』のPart2の「プリンタを使う」をご覧ください。プリンタドライバをインストールしてください。

case② プリンタドライバの設定が正しくない。

→ Windows 95の場合

1 [スタート]ボタン-[設定]-[プリンタ]の順にクリックしプリンタフォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンを右クリックします。

2 表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。
インストールしたプリンタドライバのプロパティが表示されます。



右クリックしたときに、「通常使うプリンタ」にチェックが付いていることを確認してください。付いていない場合は、クリックしてチェックを付けてください。

3 プロパティの「情報」タブの「印字テスト」のボタンをクリックして印字テストを行います。印字テストが正常に実行されない場合は、Windows 95のヘルプを使用して設定を行ってください。

→ Windows 3.1の場合

[メイン]グループの「コントロールパネル」の「プリントマネージャ」で設定します。詳しくは、『Microsoft Windows 3.1/MS-DOS6.2クイックガイド』をご覧ください。

case ③ CASE1、CASE2の設定を行っても印刷できない。

プリンタのセットアップをやり直してみてください。

→ Windows 95の場合

- 1 プリントフォルダを開き、問題があるプリンタのアイコンを右クリックします。
- 2 表示されたメニューから「削除」を選択してプリンタを削除します。
- 3 プリントのマニュアルをご覧になり、「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックし、プリンタを再セットアップします。画面に表示されるメッセージに従ってセットアップしてください。

→ Windows 3.1の場合

- 1 「メイン」グループの「プリントマネージャ」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「オプション」 「プリンタの設定」 をクリックします。
- 3 「組み込まれているプリンタ」から削除したいプリンタを選択して「登録の削除」ボタンをクリックして、次の画面で「はい」ボタンをクリックします。
- 4 「追加」ボタンをクリックして「組み込むプリンタの選択」から組み込みたいプリンタを選択（一覧にない場合は「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み」を選択）して「組み込み」ボタンをクリックします。
- 5 後は画面の指示に従って、プリンタを組み込んでください。

1

トラブルQ&A

インターネット/パソコン通信

インターネットやパソコン通信するには別売のモデムが必要です。

Windows
95

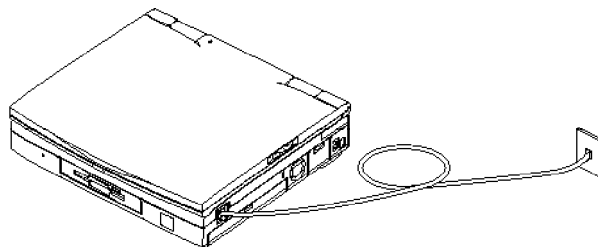
インターネットに接続できない。

次の手順に従って、接続できない原因を確認した上で対処してください。

1

配線は正しくできていますか？

- モデムのマニュアルをご覧のうえ、モジュージャックが正しく接続できているか確認してください。



2

電話回線が混雑していませんか？

- 時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがありますので、何度か接続し直してみたり、少し待ってから接続してみてください。



3

モデムを使うようなアプリケーションソフトが他に起動していませんか？

- モデムを使用するようなアプリケーションソフトが起動していると、インターネットに接続できないことがあります。モデムを使用しているアプリケーションソフトを終了してください。



4

モデムは動いていますか？

- デバイスマネージャの画面でモデムのところに赤い×マークや黄色い!!がついていないか確認してみてください(「P.55「デバイスマネージャ」)ついていればWindows 95のヘルプを参照してマークがつかない状態にしてください。



5

本機の回線の設定は正しいですか？

- 本機の回線の設定がトーンになっているかパルスになっているかを確認してみてください。また、お使いの電話回線が外線発信の必要なもの場合は、外線発信が設定されているかも確認してください。本機の回線の設定は「ダイヤル」の「プロパティ」で確認できます（P. 56「ダイヤル」）。本機の回線の設定を、お使いの電話回線に合わせてください。



6

ダイヤルアップの設定は正しいですか？

- 本機にプロバイダに接続するための正しい情報を設定する必要があります。ダイヤルアップの画面で正しく設定できているかを確認してください（P. 57「ダイヤルアップの設定」）。

上記の項目について確認しても接続できない場合は、当社指定のサービス窓口にご相談ください。

デバイスマネージャ

デバイスマネージャの画面で、Windows 95がモデムを正しく認識しているかを確認してください。

- 1 [スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [システム]アイコンをダブルクリックして、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

モデムのアイコンがなかったり、モデムのところに、赤い×マークや黄色い!!がついている場合は、そのモデムは正しく認識されていません。モデムの確認と設定をしてください。別売のFAXモデムボード（PC-9821NR-B05）を使用している場合は次の手順でモデムの確認と設定をしてください。

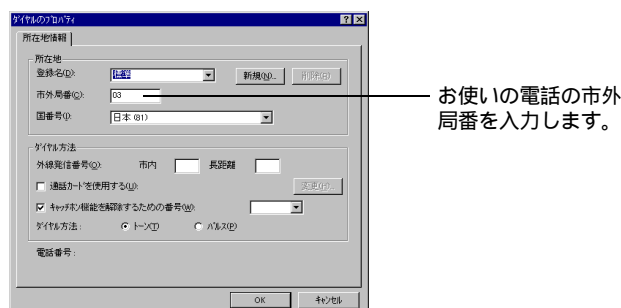
- 1 98NOTEメニューで「モデム」が「使用しない」設定になっていないか確認します（98NOTEメニューについては『ステップアップガイド』のPart 3をご覧ください）。
「使用しない」設定になっている場合、「プラグ&プレイモード」に設定して98NOTEメニューを終了します。

- 2** Windows 95が起動したら、再びデバイスマネージャの画面で、マークがついていないか確認します。ついている場合は、Windows 95のヘルプを参照して、マークがつかないようにします。

ダイヤル

本機のダイヤル設定は、ダイヤルのプロパティで確認してください。また、トーンかパルスかの設定も同じ画面で確認することができます。

- 1** [スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2** [モデム]アイコンをダブルクリックして、[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックします。
次の画面が表示されます。



「所在地」のところでも市外局番に自分の所在地の正しい市外局番を入力します。

外線を使用している場合は、外線発信番号を入力してください。使用している外線発信番号については、ネットワーク管理者などにお問い合わせください。



ご家庭でご使用の場合は、外線発信番号の「市内」と「長距離」の欄は空欄のままでご使用ください。

お使いの電話回線にあわせてトーンかパルスかを選択してください。

プッシュ回線 トーンを選択

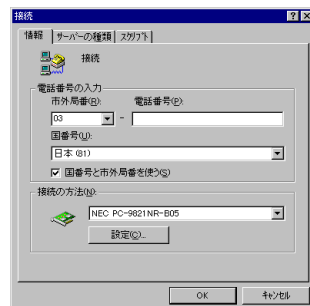
ダイヤル回線 パルスを選択

お使いの電話回線がプッシュ回線かダイヤル回線かわからない場合は、NTTにお問い合わせください。

ダイヤルアップ

次の手順でダイヤルアップの設定が正しいかどうかを確認してください。

- 1 [スタート]ボタン-[プログラム]-[アクセサリ]-[ダイヤルアップネットワーク]の順にクリックします。
- 2 使用しているダイヤルアップ接続のアイコンを右クリックします。
- 3 表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。
次の画面が表示されます。



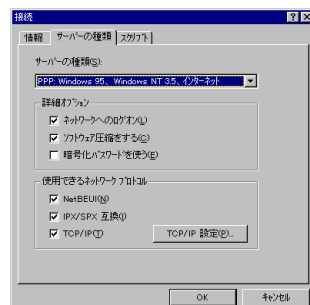
- 4 [情報]タブの「電話番号の入力」ボックスで、プロバイダのアクセスポイントの電話番号が正しく入力されていることを確認します。

プロバイダのアクセスポイントの電話番号については、プロバイダにお問い合わせください。

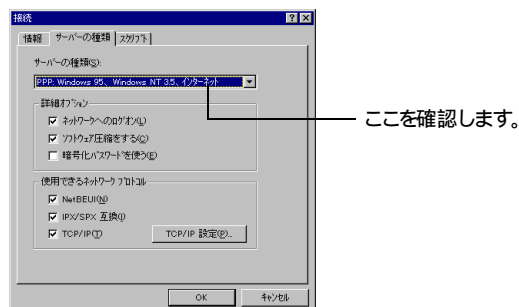


電話番号は必ず半角文字で入力します。

- 5 [サーバーの種類]タブをクリックします。
次の画面が表示されます。



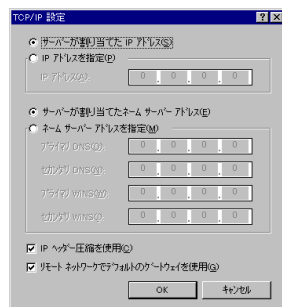
- 6** [サーバーの種類]で[PPP:Windows 95,Windows NT3.5,インターネット]が選択されていることを確認します。



- 7** [詳細オプション]の[ネットワークへのログオン]が (オフ)になっていることを確認します。

- 8** [使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/ IP]のみが (オン)になっていることを確認してください。
他のプロトコルのチェックボックスはすべて (オフ)にします。

- 9** [TCP/IP設定]ボタンをクリックします。
次の画面が表示されます。



- 10** プロバイダに応じた設定をします。
設定内容についてはプロバイダにお問い合わせください。

- 11** [OK] を2回クリックします。

Windows
95&3.1

通信中に文字表示がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する。

- case ① 通信ソフトの設定が正しくない。
→ 最大通信速度、エラー訂正手順などを通信ソフトのマニュアルをご覧になり、設定してください。
- case ② 通信回線が雑音などの影響を受けている。
→ 本機の近くにテレビやラジオなどがあると、本機とモジュージャックを接続するモジュラーケーブルがノイズの影響を受けて、正常に通信が行えないことがあります。本機とテレビやラジオなどを遠ざけて使用してください。
- case ③ ハイパーターミナルで画面表示が間に合わない。
→ [表示] [フォント] で小さいフォントに変更してください。

Windows
95&3.1

シリアルコネクタに接続した通信機器が使えない。

- case ① 98NOTEメニューの「セキュリティの設定」で「シリアル I/Oロック」が設定されている。
→ 「シリアル I/Oロック」を「設定しない」にしてください。
- case ② モデムがセットアップされていない。
→ モデムを接続した場合はモデムのセットアップが必要です。モデムのセットアップについてはモデムのマニュアルをご覧ください。

通常の電話をFAXとして受信してしまう。

電話回線を通話用としても使用している場合、「応答までのコール数」が少ないと、通常の通話用の電話もFAXとして受信してしまいます。

電話を使用するには次の方法があります

- ・ [応答までのコール数] を多くする
- ・ [手動] に設定する

手動に設定すると、電話がかかるとFAXメッセージを受信するかどうかのメッセージが流れます。

パソコン通信できない。

case ① COMポートを使うアプリケーションソフトが他に起動している。

→ そのアプリケーションソフトを終了させてください。

case ② COMポートの設定が間違っている。

通信ソフトによってはモデムのCOMポートを通信ソフト上で指定する必要があるものがあります。

モデムのCOMポートは、次の方法で確認することができます。

→ Windows 95の場合

1 [スタート] ボタン-[設定] [コントロールパネル] の順にクリックして、[モデム] アイコンをダブルクリックします。

2 [プロパティ] ボタンをクリックします。

表示されたモデムのプロパティ画面の「ポート」のところではモデムのCOMポートを確認することができます。

この画面で確認できたCOMポートの番号と、通信ソフトの設定画面で設定されているCOMポートが同じかどうか確認してください。異なる場合は、通信ソフトの設定を変更してください。通信ソフトの設定については『アプリケーション操作ガイド』または通信ソフトのマニュアルをご覧ください。

→ Windows 3.1の場合

『ソフトウェア補足ガイド』をご覧ください。

Windows
95

Exchangeを使用して送ったメールが文字化けしていた。

case ① メッセージの送信形式が正しくない。

→ 次のように設定することにより、より多くの人が正しいメッセージを送受信することができるようになります。

- 1 メニューバーの [ツール] [サービス] をクリックします。
- 2 [サービス タブ] の このプロファイルにセットアップされたインフォメーションサービス(D)] 中の [インターネットメール] をクリックし、プロパティボタンをクリックします。
- 3 [全般 タブ] の [メッセージ形式] ボタンをクリックします。
- 4 [メッセージを送信するときにMIMEを使用(M)] の横のチェックボックスをクリックして (オン) にします。
- 5 [文字コードセット(C)] ボタンをクリックし、[メッセージで使用する拡張文字コードセット] を [日本語(JIS)] に変更し、[OK] を何度か押してExchangeを終了します。

次回、Exchangeを起動後から設定した内容が有効になります。

case ② 文字セットが正しくない。

→ メッセージで使用する拡張文字コードセットをCASE1の5番の設定にします。

case ③ 特殊文字を使っている。

→ 半角カタカナ、特殊記号(丸付き数字や罫線文字など)をメッセージ本文、件名、送信者名に使用しないでください。

受信側もWindows 3.1またはWindows 95、Windows NTを使用していることが明らかで、これらの文字をどうしても送信する必要がある場合は、テキストファイルとして送信してください。

case ④ 件名に漢字を使用している。

→ 件名(サブジェクト)中には、なるべく漢字を使用しないでください。使用する場合には、18文字以下の長さにしてください。これはInternet MailおよびNewsの現在のバージョンの制限事項です。

1

トラブルQ&A

ファイルを添付したメールを送信したが、うまく送れなかった。

case ① メールに添付したファイルサイズが、お客様の加入しているインターネットプロバイダが許容するサイズより大きい。

→ インターネットサービスプロバイダの中には、送信できる添付ファイルのサイズを制限している場合があります。このような場合、メールに添付するファイルのサイズを小さく（圧縮する）してください。また、複数のファイルを一度に送信する場合には分割して送信してください。メールサイズの上限に関しては、お客様が加入しているインターネットプロバイダのサポート窓口にご確認ください。

ファイルが添付されたメッセージの受信はできるが、表示できない。

Internet Mailは、複数に分割されたメッセージをダウンロードする際、自動的に結合させて受信します。しかし、その他のメールクライアントで分割して送信されたメールメッセージのパッケージは、異なる動作をする場合があります。

また、Internet Mailではテキスト文書に関して、MIMEとUencodeというインターネット上で一般的な2種類のエンコード方式をサポートしています。メールに添付されたファイルは、常にMIME方式でエンコードしています。しかし、メールクライアントの中には、MIMEでエンコードされたメッセージをデコード（解読）する機能を持たないものもあります。このようなメールクライアントでは、正しくメッセージが表示されない場合があります。

インターネットメールを受信するメールクライアントが、これらのエンコード方式をサポートしているかどうかについては、そのメールクライアントのマニュアルをご覧になるか、製造元にお問い合わせください。



Windows 95のヘルプを活用してトラブルを解決する

インターネットやパソコン通信についての問題の解決方法をWindows 95のヘルプで知ることができます。Windows 95のヘルプは次の手順で表示させます。

1 [スタート]ボタン-[ヘルプ]の順にクリックします。

2 [目次]タブの[トラブルシューティング]をダブルクリックします。

表示された項目のうち、知りたい項目をダブルクリックします。インターネットやパソコン通信に関する項目には次のようなものがあります。

- ・インターネットに関する問題
- ・モデムに関する問題
- ・ダイヤルアップネットワークに関する問題

サウンド

Windows
95&3.1

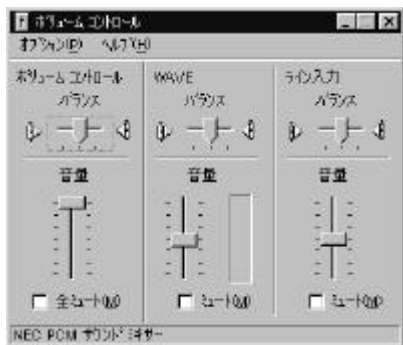
内蔵スピーカからの音が出ない、または大きすぎる。

case ① 音量調節のボリュームが合っていない。

本機のスピーカ音量調節つまみを回して適当な音量に調節してください。また、Windowsの「ボリュームコントロール」で音量を調節してください。

→ Windows 95の場合

「ボリュームコントロール」は「スタート」ボタン-「プログラム」-「アクセサリ」-「マルチメディア」-「ボリュームコントロール」の順にクリックすると起動できます。



→ Windows 3.1の場合

「プログラムマネージャ」の「メニュー」の「ボリュームコントロール」で設定してください。

case ② ヘッドホンが接続されている。

→ ヘッドホンが接続されていると、内蔵スピーカから音が出ません。ヘッドホンを取り外してください。

case ③ ミュートが設定されている。

→ Windows 95の場合は「スタート」ボタン-「プログラム」-「アクセサリ」-「マルチメディア」-「ボリュームコントロール」の画面で「全ミュート」のチェックボックスが☑(オン)になっている場合は、クリックして☐(オフ)にしてください。

1

トラブルQ&A

マイクロホンを使用するとキーンと音が出る(ハウリング現象)

- case ① 内蔵スピーカボリュームが大きすぎる。
- 本機のスピーカ音量調節つまみを回して音量を小さくしてください。または98NOTEメニューの「動作環境の設定」でマイクボリュームの値を小さくしてください。またはWindowsでマイクボリュームの音量を調節してください。詳しくは『ステップアップガイド』のPart1の「サウンド機能」をご覧ください。
- case ② 入力レベル調節のボリュームが大きすぎる。
- 98NOTEメニューの「動作環境の設定」で、マイクボリュームの値を小さくしてください(MS-DOSで使用している場合)。
- case ③ マイクロホンの本機内蔵スピーカに近づけすぎている。
- マイクロホンの内蔵スピーカから遠ざけてください。

本機の動作環境の設定

Windows
95&3.1

メモリスイッチの設定が変更できない。

case ① 98NOTEメニューの「ディップスイッチの設定」または98NOTEメニューユーティリティの「動作環境の設定」の「メモリスイッチ」のSW2-5(メモリスイッチ)が「初期化する」になっている。

- メモリスイッチの内容を変更したときは、必ず98NOTEメニューの「ディップスイッチの設定」のSW2-5(メモリスイッチ)を「初期化しない」にしてください。
メモリスイッチが「初期化する」に設定されていると、本機の起動のたびにメモリスイッチが工場出荷時の設定に戻ってしまい、変更が反映されません。メモリスイッチ、98NOTEメニューの変更方法は、『ステップアップガイド』のPart 3をご覧ください。

case ② Windowsの「MS-DOSプロンプト」ウィンドウからSWITCHコマンドを起動している。

- 「MS-DOSプロンプト」ウィンドウからはSWITCHコマンドは使用できません。
Windows 95の場合はMS-DOSモードの画面から、Windows 3.1の場合はMS-DOSの画面からSWITCHコマンドを起動してください。

1

トラブルQ&A

その他

Windows
95&3.1

メモリチェックで表示されるメモリの容量が実際の容量より少ない。

本機では「16Mバイトシステム空間」と呼ばれるメモリアドレスF00000h～FFFFFFhの領域を、OSなどが使用します。

このため、98NOTEメニューの「動作環境の設定」で「16Mバイトシステム空間」が使用されているときには、メモリチェックでの値が、約1Mバイト少なく表示されます。また、本機では、ユーザーズメモリ容量は搭載メモリの総容量より30.4Mバイト少なく表示されます。

Windows
95&3.1

表示される日付と時刻が正しくない。

case ① 内蔵のリチウムバッテリー容量がなくなった。

→ 日付と時刻は内蔵のリチウムバッテリーで保持されています。購入後すぐや長い間本機をONにしなかったときなどは、次の手順でリチウムバッテリーを充電し、日付と時刻を設定してください。

1 ACアダプタを接続して本機の電源を約4時間以上ONにします。



ONにしておくと、自動的にリチウムバッテリーが充電されます。4時間以上ONにしておくと約1週間、40時間以上ONにしておくと約2ヵ月間本機をONにしなくてもバッテリーが維持できます。

2 Windowsのコントロールパネルの「日付と時刻」で日付と時刻を設定し直します。

Windows
95

本機に市販のWindows 3.1をインストールしようとする
と9枚目のフロッピーディスクで止まってしまう。

Windows 3.1のセットアップを、カスタムセットアップで行い、ディスプレイの項目を640×400ドット16色に設定してください。

また、インストール終了後は、アップグレード等が必要です。詳しくは「再セットアップガイド」の「Windows 3.1を利用する」をご覧ください。

なお、Windows 3.1のセットアップは必ず「再セットアップガイド」に記載の手順で行ってください。

Windows
95

Windows 3.1をインストールしたが、正常に動作しない。

市販のWindows 3.1やMS-DOS 6.2をBDライブなどにインストールした場合、本機固有の機能やドライバが正しく動作しないことがあります。

『再セットアップガイド』のPart3の「Windows 3.1を利用する」をご覧ください。Windows 3.1のアップグレードを行ってください。

Windows
95&3.1

アプリケーションソフトが起動しなくなった。

case① サスペンド/レジューム機能が使用できないアプリケーションソフトでサスペンドを使用した。

- サスペンド/レジューム機能が使用できないアプリケーションソフトでサスペンド/レジューム機能を使用しようとすると、アプリケーションソフトが正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションソフトでは、次回からはサスペンド/レジューム機能を使用しないでください。



上記の場合で、本機の電源がOFFにできなくなったときは、電源スイッチをスライドさせながらサスペンドスイッチを押して強制的に電源をOFFにしてください。

case② アプリケーションソフトを起動させるのに必要なメモリが足りない。

- 複数のアプリケーションソフトを開いた状態で新しくアプリケーションソフトを起動しようとしても、そのアプリケーションソフトに必要なメモリが足りなくてアプリケーションソフトが起動できないことがあります。

このような場合は、いったん他のアプリケーションソフトを終了してからアプリケーションソフトを起動してください。それでもうまく起動しないときはコンピュータを再起動させてください。

1

ト
ラ
ブ
ル
Q
&
A

赤外線通信が正常に行えない。

- case ① 本機と通信相手機器の赤外線通信ポートの配置が適切でない。
- 本機と通信相手機器の赤外線通信ポートが正面に向き合うように設置し、赤外線通信ポートの距離を20~80cm程度にしてください。
最も適した通信距離は約30cmです。
- case ② 市販のOSを使っている。
- 赤外線通信機能は本機にインストールされているWindowsでのみ使用できます。
市販のOSをインストールして使用しているときには使用できません。
- case ③ 設定が正しくない。
- 98NOTEメニューの「入出力デバイスの設定」の「赤外線通信機能」を「使用する」。「セキュリティの設定」の「赤外線通信I/Oロック」を「設定しない」にしてください。
また、Windows 95の場合、『ステップアップガイド』のPart1の「赤外線通信機能」を
ご覧のうえ、赤外線通信の設定を確認してください。



Part 2

トラブル解決のために

トラブル予防のための
チェックポイント

トラブル解決のための
チェックポイント

コンピュータウイルス対策について

トラブルチェックシート


トラブル予防のための チェックポイント

トラブルの予防のために、まず最初に次のポイントを確認してみましょう。

電源は正しい手順でON/OFFにする

電源をONにする

本機の電源をONにする際は、あらかじめ周辺機器の電源をONにしておきます。
例えば、SCSI インターフェイス対応機器のように、本機の電源をONにする前に電源をONにしておかなければいけない機器もあります。

 本機に添付品以外の機器を接続したときには、次の順序で電源をONにしてください。

・プリンタを接続しているとき

本機の電源をON

プリンタの電源をON

・プリンタ以外の周辺機器を接続しているとき

周辺機器の電源をON

本機の電源をON

・プリンタとその他の周辺機器を接続しているとき

周辺機器の電源をON

本機の電源をON

プリンタの電源をON

電源をOFFにする(Windows 95の場合)


・[スタート]メニューから電源をOFFにする

Windows 95では、[スタート]ボタン-[Windowsの終了]の順にクリックし、
[Windowsの終了]ウィンドウで「コンピュータの電源を切れる状態にする」がチェックされていることを確認して[はい]ボタンをクリックします。Windows 95を終了すると自動的に本機の電源がOFFになります。



Windows 95のスタートメニューの画面

- ・電源スイッチで電源をOFFにする
ハイバネーション機能が設定されていない状態で電源スイッチをスライドすると、「Windowsが終了します。よろしいですか」と表示されるので「OK」ボタンをクリックします。
Windowsが終了して、本機の電源がOFFになります。

 本機に添付品以外の機器を接続したときには、次の順序で電源をOFFにしてください。

- ・プリンタを接続しているとき

プリンタの電源をOFF

本機の電源をOFF

- ・プリンタ以外の周辺機器を接続しているとき

本機の電源をOFF

周辺機器の電源をOFF

- ・プリンタとその他の周辺機器を接続しているとき


プリンタの電源をOFF

本機の電源をOFF

周辺機器の電源をOFF

電源をOFFにする(Windows 3.1の場合)

[プログラムマネージャ]の[アイコン] [Windowsの終了] をクリックして表示された画面で「OK」ボタンをクリックします。MS-DOSコマンドメニューが表示された場合はキーボードの[F9]を押して終了させ、キーボードの[STOP]を押してから電源スイッチをスライドさせます。

 PC-9821Nr13/S14Zでハイバネーションが設定されているときに電源をOFFにするとハイバネーション状態になります。

大切なデータはバックアップをとっておく

コンピュータを使っていると、うっかりファイルを消してしまったり、ドライブが故障してしまったりと、大切なデータをなくしてしまうことがあります。そんなときには、データをコピーして予備のデータをとっておくと安心です。

また、本機を再セットアップする場合には、ハードディスクが初期化されるので必ずハードディスク内の必要なファイルのバックアップをとっておくようにしましょう。

本機を運用する前にバックアップ媒体を用意しておく

本機をご購入時の状態に戻すためには、本機のシステムをバックアップしたバックアップ媒体が必要です。

Windows 95では本機を運用する前に『再セットアップガイド』をご覧のうえ、バックアップ媒体を準備してください。バックアップ媒体を使用して再セットアップしても、ご購入時の状態に戻るだけですので、ハードディスク内にある自分で作成したデータやインストールしたアプリケーションソフトは再セットアップされません。再セットアップする前に必ずこれらのデータをバックアップしてください。

あらかじめ起動ディスクを作っておく(Windows 95の場合)

Windows 95でOSの動作が不安定になったり、設定を変更したらWindows 95そのものが起動しなくなってしまうことがあります。こんなときに、起動ディスク(Windows 95を起動するためのフロッピーディスク)を使って本機を起動して、本機を検査したり、設定を変更したりすると解決に役立つことがあります。

起動ディスクは[スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]-[起動ディスク]で作成できます。

Safeモードで本機を起動する(Windows 95の場合)

Windows 95がうまく起動しない場合には、Safeモードで本機を起動して本機の状態を調べたり、設定を変更することができます。SafeモードはWindowsがうまく起動しない時に問題解決のために使用するものです。

Safeモードは次の方法で起動します。

- 1 電源スイッチをスライドして電源をONにします。
- 2 「Windows 95を起動しています...」と表示されたらキーボードの **[F8]** を押します。
Microsoft Windows 95起動メニューが表示されます。
- 3 [3. Safeモード] を選択してキーボードの **[Enter]** を押します。
- 4 [OK] ボタンをクリックします。
Safeモードが起動します。

なお、再び標準の状態でWindows 95を起動したい場合は、Safeモードを終了させてWindows 95を起動してください。

トラブル解決のための チェックポイント

トラブルの解決のために、次のポイントを確認してみましょう。

電源コードの接続を確認する

本機だけでなく、周辺機器などの電源コードがきちんと接続されているかどうかを再度確認してみましょう。詳しくは、『ステップアップガイド』のPart2と周辺機器のマニュアルをご覧ください。

本機と周辺機器の接続を確認する

『ステップアップガイド』のPart2と周辺機器のマニュアルをご覧になり、接続を確認してみましょう。接続ケーブルが外れかかっていると、本機が正常に動かなくなる原因となります。

接続ケーブルのコネクタは、正しい向き、正しい角度で差し込めば、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。

READMEファイルなどを確認する

本機や周辺機器、アプリケーションソフトには、マニュアルに載っていない最新情報が記載されている小冊子などが添付されていることがあります。また、ハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROMにも、最新情報が記載されたファイル（一般にREADMEといったファイル名が付けられています）が収録されています。何か問題が発生した場合は、このような情報を確認してみてください。

READMEファイルの読み方

PC-9821Nr13/S14、PC-9821Nr13/D14の場合

A: ¥WINDOWSに「NECREAD.DOC」というREADMEファイルがあります。

1 [スタート]ボタン-[プログラム]-[アクセサリ]-[ワードパッド]の順にクリックします。

2

トラブル解決のために

- 2** [ファイル] をクリックし、メニューから [開く] をクリックします。
次の画面が表示されます。



- 3** ファイル名に次のように入力して、[開く] ボタンをクリックします。

A : ¥WINDOWS¥NECREAD.DOC

NECREAD.DOC が開きます。



- NECREAD.DOCは[スタート] ボタン-[プログラム] [補足説明] を選択しても開くことができます。
- READMEファイルは[スタート] ボタン-[プログラム] [エクスプローラ] などから、そのファイルをダブルクリックして読むこともできます。

PC-9821Nr13/S14Zの場合

A : ¥WINDOWSに「README.WRI」というREADMEファイルがあります。

- 1** [アクセサリ]グループの[ライト] をダブルクリックします。
- 2** [ファイル]メニューから [開く] をクリックします。
- 3** ファイル名に次のように入力して、[OK] ボタンをクリックします。

A : ¥WINDOWS¥README.WRI

README.WRI が開きます。



- README.WRIは[メイン]グループの[説明ファイル] アイコンをダブルクリックして読むこともできます。
- READMEファイルは[メイン]グループの[ファイルマネージャ] からそのファイルをダブルクリックして読むこともできます。

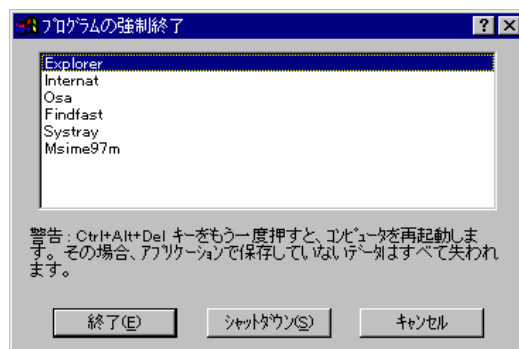
アプリケーションソフトの動作が突然止まったら

アプリケーションソフトを使っていると、突然キーボードやポインティングデバイスの操作ができなくなってしまうことがあります。この原因はさまざまですが、停止してしまったアプリケーションソフトだけを強制的に終了することで、Windowsの操作が続けられます。



強制終了の方法

Windows 95が止まってしまった場合にアプリケーションソフトを終了する方法は次のとおりです。キーボードの[CTRL]と[GRPH]と[DEL]を同時に押すと、「プログラムの強制終了」が表示されます。



プログラム名の後に「応答なし」と表示されている項目を選択して、「終了」ボタンをクリックします。「プログラムの強制終了」が表示されない場合は、まず電源スイッチをスライドさせて同時にサスペンドスイッチを押して強制的に電源をOFFにすることができます。プログラムを強制終了すると、それまでに保存しておかなかったデータは消えてしまいます。Windows 3.1の場合も同様にキーボードの[CTRL] + [GRPH] + [DEL]を同時に押してアプリケーションソフトを終了することができます。キーを押した後の操作は画面の指示に従ってください。



コンピュータウイルス対策について

コンピュータを回線やネットワークにつないで、データのやりとりが多くなると心配なのがコンピュータウイルス(以降ウイルス)です。

ここでは、ウイルスとはどんなものか、また、ウイルスの予防法と、検査するためのアプリケーションソフトについて説明しています。

コンピュータウイルスとは.....

コンピュータウイルスとはプログラム的一种です。ユーザ(使用者)が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

フロッピーディスクやネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウイルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・ フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する
- ・ 出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない
- ・ 入手したプログラムはウイルス検査をすませてから使用する
- ・ パーソナルコンピュータのウイルス検査は定期的に行う

PC-9821Nr13/S14、PC-9821Nr13/D14のWindows 95には、ウイルスチェッカー「スキャンワクチン Limited」が用意されています。

スキャンワクチン Limited は、[スタート] ボタン-[プログラム] [スキャンワクチン Limited] [スキャンワクチン Limited] の順にクリックすると、起動することができます。

ウイルスチェッカーを定期的に利用して、ウイルスに感染していないかどうか、チェックされることをおすすめします。操作方法は『アプリケーション操作ガイド』をご覧ください。また、新種のウイルスに対応できるように、ウイルスチェッカーは定期的に最新のものに更新することをおすすめします。

万一、コンピュータウイルスに感染してしまった場合は、最寄りの NEC サービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。



スキャンワクチンLimitedの画面

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

PC-9821Nr13/S14Zの場合は「ウイルスバスター98」を利用します。詳しくは、『Microsoft Windows 3.1/MS-DOS6.2クイックガイド』をご覧ください。

コンピュータウイルスを発見したら

ウイルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションソフトのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウイルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウイルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウイルスが発見された場合は、使用した媒体（フロッピーディスク、ハードディスクなど）をすべてウイルス検査する必要があります。

コンピュータウイルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウイルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウイルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体（通称IPA）がウイルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウイルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので（平成7年7月7日付通商産業省告示第429号）届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

届け出先（IPA）は、PC-9821Nr13/S14、PC-9821Nr13/D14では「スキャンワクチン Limited」のヘルプをご覧ください。

PC-9821Nr13/S14Zでは添付の『ウイルスバスター98』の「コンピュータウイルスを発見したら!」をご覧ください。

2

トラブル解決のために



ウイルスの種類

コンピュータウイルスが「ウイルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入りこんだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウイルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病と言います。

ウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

ファイル感染型ウイルス

一般に、実行型ファイル(拡張子がEXEやCOM)に感染するタイプのウイルスです。ファイル感染型ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

マクロ感染型ウイルス

アプリケーションソフトのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

ブートセクタ型ウイルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(BPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

トラブルチェックシート

お問い合わせにお答えするには、お客様のご利用環境やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。お問い合わせいただく前に、次のシートにあらかじめお使いのパーソナルコンピュータの種類やトラブルの内容などを記入してください。

動作環境一覧

ハードウェア環境

本体	
型名 : PC-9821	製造番号(<small>本機底部に記載されています</small>):
搭載メモリ容量	M バイト
ハードディスク容量	G バイト
ハードディスク空き容量	M バイト
周辺機器	
	品名・型名(メーカー名)
CRT ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
PC カード	
ドライブベイ	
ネットワークボード	
その他の周辺機器	

ソフトウェア環境

使用している OS のバージョンと発売メーカー Windows 95 Windows 3.1 MS-DOS 6.2 Windows NT(バージョン)
起動していたアプリケーションソフト名

2

トラブル解決のために

具体的な問題の内容

問題発生時の動作・状況

画面表示の内容(エラーメッセージなど)

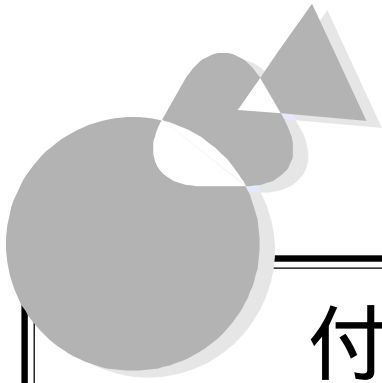
障害発生頻度

毎回 不定期(回)に一回程度)

特定の動作時

その他(気づいたことがあればお書きください)

M E M O



付録

パソコン用語集
索引

パソコン用語集

パソコン用語集はWindowsの「スタート」ボタン、「プログラム」[「パソコン用語集」]でも見ることができます。

あ

アイコン

ソフトウェアで、コマンド(命令)や処理を表現するために使用する絵文字。マウスなどのポインティングデバイスをアイコンの上に合わせ、クリックする(マウスボタンを押す)ことで、さまざまな指示を与えることができるようになっている。

アカウント

サーバなどのコンピュータにログインする権利。

アクセス

メモリや周辺機器からデータを呼び出したり、あるいは書き込んだりすること。

アプリケーションソフト

文書作成、データ管理、表計算といった各々の作業を実行するためのソフトウェアのこと。

インターネット

世界中に点在する世界規模のコンピュータのネットワーク、電子メールファイル転送、World Wide Webなどのサービスが提供されている。

インストール

基本ソフトやアプリケーションソフトを、ハードディスクに組み込んで使用できる状態にすること。

インターフェイス

ソフトウェアとハードウェア、または装置と装置など2つ以上の構成要素の境界部分のこと。通常、パソコン本体と周辺機器とをつなぐコネクタなどを指すことが多い。

ウィンドウアクセラレータ

Windowsの実行スピードを向上させ、高解像度表示を実現可能にする装置のこと。

液晶ディスプレイ

電圧のON/OFFにより、分子を規則正しく並べることのできる液晶を利用したディスプレイ。小型軽量で、どこにでも持ち運べるほか、低消費電力でバッテリー駆動が簡単にできるというのが大きな特長。液晶ディスプレイにはSTN型、TFT型などがある。

エクスプローラ

Windows 95で、主にファイルやフォルダの管理をするためのツール。ファイルのコピーや削除、アプリケーションの起動などが、マウスを使って簡単にできる。

オペレーティングシステム(OS)

ハードウェアとアプリケーションソフトウェアの間で、プログラムの制御や管理、入出力の制御などを行うためのソフトウェア全般を指す。基本ソフトウェアともいう。

オンラインヘルプ

画面に表示されるヘルプメッセージのこと。Windowsのヘルプでは、操作方法や機能に紹介などが表示される。

か

解像度

ディスプレイの画面上に表示できる文字や図形などの情報量を表すもの。解像度をあらわす数字が大きくなるほど、画面上に一度に多くの情報を表示することができる。

拡張子

ファイル名の最後につく「.」から後ろの3文字のこと。主にファイルの種類をあらわす。

拡張メモリ

メインメモリ以外で、拡張メモリドライバなどを使用すると利用可能になるメモリ。

カーソル

ディスプレイ画面上に文字や図形を入力、表示する位置を示すマークのこと。四角が画面上に点滅するもの、下線が点滅するものなどがある。

起動

システムに電源を入れて、動作を開始すること。あるいは、プログラムを呼び出して実行すること。「立ち上げる」ともいう。

キャッシュメモリ

CPUとメインメモリの間を媒介するメモリ。キャッシュメモリを使用すると、CPUは読み込みのためにいちいちメモリまでアクセスする必要がなくなるので処理速度が向上する。

強制終了

強制的にプログラムの実行を終了させること。

グラフィック

絵や図形などの画像のこと。PC-9800シリーズでは、文字とは違う画面に表示されるのが普通である。通常テキスト画面(文字画面)1枚とグラフィック画面2枚を持ち、それを重ね合わせてディスプレイ上に表示することができる。

クロック周波数

パソコン本体に内蔵されているCPUの動作周波数のこと。同じCPUであれば、この数値が大きいほどパソコンの処理速度は速い。

ゲートウェイ

異なるネットワークを接続するための装置やシステムのこと。異なるプロトコルやデータの形式を変換するのに使用される。

コマンド

OSやアプリケーションソフト、周辺機器などに各種の処理を行わせるための命令のこと。

ごみ箱

Windows 95の画面上にあるごみ箱のアイコンのこと。不要なフォルダやファイルをここにドラッグすることで一時的に保管しておくことができる。復元させたい場合は、復旧させたいファイルやフォルダを選択して[ファイル]メニューの[元に戻す]で復旧できる。削除する場合は、[ファイル]メニューの[ごみ箱を空にする]を選択することで行う。

コントロールパネル

Windowsで、使用環境に合わせてハードウェアや画面の色などの設定を変更するアプリケーション。

コンピュータウイルス

コンピュータのプログラムに侵入し、ファイルの内容を破壊したり、プログラムを暴走させたりするなどの有害な動作をするプログラムのこと。

.....

さ

サスペンド

作業中の状態を一時的にメモリに保存すること。

サーバー

ネットワーク環境において、主にクライアント(依頼者、または依頼者の利用するパソコン)にサービスを提供するハードウェアやソフトウェアのこと。プログラムやデータベース、プリンタ、ネットワークの管理をすることが多い。

システムソフトウェア

オペレーティングシステムなど、コンピュータを動かすための基本的なソフトウェアのこと。

システムディスク

システムソフトウェアが記録されているフロッピーディスクのこと。

このフロッピーディスクから、システムソフトウェアを読み込んでコンピュータを動作させる。

シェアウェア

パソコン通信などを流通経路とする商用ソフトウェア。一定期間使用後にユーザが本格的に使用したいなら使用料を払う。

シャットダウン

OSを終了して、コンピュータの電源をOFFにすること。

周辺機器

プリンタ、ディスプレイ、モデムなど、コンピュータ本体に接続して使用する、本体以外の機器全般のこと。

受信トレイ

[Microsoft Exchange]にある汎用のトレイのこと。電子メールを受信するとここに保存される。

初期化

周辺機器や記録媒体を使用できる状態にすること。どこにどのような情報を書き込むか、どの情報を読むかなどをコンピュータにわかるように、いわば区画整理して、あるソフトウェアのもとで使用できる状態にすることを「初期化」または「Format(フォーマット)」という。

ショートカット

Windows 95で、ファイルをすばやく利用するための機能。または、ショートカットが設定されたアイコンのこと。ショートカットを利用すると[スタート]メニューからアプリケーションを起動しなくても、直接アプリケーションを起動させファイルを開くことができる。

シリアルインターフェイス

コンピュータと周辺装置の間でデータをやりとりする際に、1ビット単位でデータを送ることができるインターフェイスのこと。

スキャンディスク

ディスクエラーをチェックし、その修復を行うユーティリティ。

スクロール

画面に表示する範囲を、上下左右に移動させること。

赤外線通信

赤外線を使って、コードレスで他の機器とのデータをやりとりすること。

全二重通信

端末どうしの通信で、送信と受信が同時に行われる通信方式のこと。

ソフトウェア

アプリケーションソフト、システムソフトなどプログラム全般のこと。

コンピュータ本体、周辺機器などのハードウェアに対して、このように呼ばれる。

.....
た

ダイヤルアップネットワーク

必要なときに、モデムなどを使ってネットワークに接続する形式のネットワークのこと。

ダウンロード

ホストコンピュータから、端末のコンピュータにファイルなどを転送すること。

立ち上げ

起動

チャット

パソコン通信に同時にアクセスしているユーザ同士で会話する機能。

通信条件

パソコンと周辺機器などとの間で取り決める通信の条件。送信および受信側とは同じ条件に設定しなければ通信できない。

通信速度

1秒間に送るデータの通信量。
bps(Bit per Second)の単位が使用される。

ディップスイッチ

コンピュータの状態を変更するために使われるスイッチのこと。
ON/OFFを切り替えることで、システムの状態を変更できる。

デジタルサンプリング機能

オーディオ入力端子やマイクロホンから入力した音声などのアナログ信号を、デジタル信号に変換して録音する機能。人の声など、FM音源では再現できない音も、簡単に、雑音の少ない原音に近い音で再現できる。
なお、本機のデジタルサンプリングは、PCM(Pulse Code Modulation)方式。

データ

コンピュータが扱う情報のこと。
文字データ、画像データなどがある。

デバイス

コンピュータに接続される周辺機器のこと。プリンタ、ハードディスクなどがある。

デフォルト値(既定値)

何も指定しなかったときに適用される値や選択肢のこと。

デュアルスキャンSTN液晶ディスプレイ
液晶ディスプレイの表示方法の1つ。液晶の分子を90度より大きくねじることで、明暗のコントラストをよりはっきりとさせることができるSTN液晶を、上下に2分割して、同時に駆動させることでさらに見やすくしたもの。

電子メール

ネットワークで送受信されるメッセージのこと。送信されたメッセージは、メールサーバに蓄えられ、いつでも自由に送受信することができる。電子メールでは、それぞれの利用者に割り当てられた宛先(アドレス)が使用される。

同期通信

通信するデータにタイミングを合わせる信号を入れ、送信側と受信側で同期を取りながら転送を行う方式。

ドメイン名

電子メールアドレスなどで使用されるコンピュータのグループを表す名前。国名、所属する団体などの情報が含まれる。

.....

な

入力装置

コンピュータに命令や情報などを入力するために用いる装置。
代表的なものがキーボードである。マウスやイメージスキャナなども入力装置の一種である。

ネットサーフィン

WWWサーバーにアクセスして、WWWブラウザを使ってホームページからホームページを波乗りのように渡り歩くこと。

ネットワーク

複数のコンピュータを通信回線で結んで使用する形態。ネットワークで結んで使用すると、ファイルやデータベースを共有できる。おもなネットワークとして、LANやパソコン通信がある。

は

バイト

コンピュータが扱うデータの基本的な単位。01000001のように、2進法8桁で表現される。また、2進法の1桁をビットと呼ぶ。つまり8ビットで1バイトとなるわけである。

ハイバネーション

作業内容をハードディスクに保存する機能。バッテリー残量がなくなったり、作業を一時中断しても、ハードディスクからの作業内容が呼び出せる。

バージョン

ソフトウェアやハードウェアなどの開発された順序を示す表現。通常は数字などで表され、新しく開発されたものほど数字が大きくなる。

パーティション

記憶装置(ハードディスクなど)を分割したもののこと。例えば、ユーザーが記憶領域を2つに分ければ、2台のハードディスクを使っているように利用できる。

ハードウェア

コンピュータ本体や周辺機器などの機械類のことを総称して、ハードウェアという。これに対してハードウェアを動かすプログラムのことをソフトウェアという。

ハードコピー

プリンタを用いて、紙にディスプレイ画面の表示と同様のコピーをとること。

ハードディスク

補助記憶装置のひとつで、固定ディスクともいう。表面に磁性体を塗った円盤数枚からなる。1台のパソコンで複数のアプリケーションソフトを切り替えながら使用する場合、ハードディスクに登録しておく、いちいちフロッピーディスクを取り替えなくてよい。

パソコン通信

電話回線などを介して、手元のパソコンを相手のパソコンや大型コンピュータ(ホストコンピュータ)などと接続し、情報(データ)をやりとりすること。

バックアップ

ディスクやファイルのトラブルに備えて、予備のディスクやファイルを作成すること。

パラレルインターフェイス

複数の線を使用し、データを平行(パラレル)に送る方式のこと。本機では、プリンタ用のコネクタがパラレルインターフェイスである。これに対して、データを1ビットずつ送るシリアルインターフェイスがある。

半二重通信

端末どうしの通信で、送信と受信が同時に行えない通信方式のこと。送信と受信をくり返して通信を行う。

ビット

コンピュータが使う情報量の最小単位。0(ゼロ)か1のいずれかの情報を持つことができる。ビットが8つで8ビットとなり、これを1バイトという。

非同期通信

データの前にスタートビット、後にストップビットを付けて送信する通信方式。これに対して同期通信がある。

フォーマット

初期化

フリーソフトウェア

商用ではなく、広く一般ユーザに使用してもらう事を目的に提供されたソフトウェア。フリーソフトともいう。

ブリーフケース

Windows 95で複数のコンピュータを使う場合に、それぞれが持つデータを絶えず最新のものに一致させるためのツールのこと。

プリンタドライバ

プリンタとコンピュータのやり取りを仲介するプログラム。Windowsにはおもなメーカーのプリンタに対応したドライバが付いており[コントロールパネル][プリンタ]で追加などの設定を行うことができる。

プログラミング言語

プログラムを作成するための言語で、コンピュータに命令を与えるために作られたもの。プログラミング言語には大きく分けて高級言語と低級言語の2種類がある。高級言語は、BASIC、COBOL、FORTRAN、Pascalなど、比較的人間の言語に近い言語であり、低級言語はアセンブリ言語などマシン語に近い言語である。

プロトコル

ネットワークで情報をやりとりするためのルールのこと。インターネットではTCP/IPが使われる。

プロバイダ

所有しているコンピュータをインターネットへつなげてくれる会社のこと。

プロパティ

ファイルやアプリケーションなどに対する各種設定や情報表示を行うための機能のこと。

プロンプト

コマンドの入力を受け付けていることを知らせる表示。MS-DOSでは、A>などの記号が表示される。

分解能

マウスの動き(移動量)に対する画面上のマウスポインタの移動量を表す単位。この値が大きくなるほど、マウスポインタの移動量も大きくなる。グラフィックを描く場合など精密な作業には、分解能の低いマウスが適している。

ポインティングデバイス

ディスプレイの表示画面上のマウスポインタを動かして、特定の一点を指定するための入力装置。マウスや98スライドパッドなどに代表される。

ホームページ

WWWにアクセスして最初に表示される画面。ホームページをクリックすることで、次々に情報を引き出したり、別のホームページにジャンプしたりできる。

ホームポジション

キーを速く、正確に打つためには指をキーボード上の一定の位置に置くことが大切で、この定位置をホームポジションという。左手の人差し指を[F](は)に、右手の人差し指を[J](ま)に置き、それ以外の指はそれぞれその隣のキーに置くようにする。親指はスペースキーの上に置く。

.....

ま

マウス

画面上にある一点を指し示すための入力用周辺機器。形状がネズミに似ていることから、この名がある。

マウスポインタ

マウスが画面上のどの位置を指しているか示すもの。多くは矢印の形をしている。

メニュー

処理内容やコマンドの種類を、一覧にして画面に表示したもの。ユーザは、この中から必要な処理を選択し、次の処理を行う。

選択は、↑↓←→キーや98スライドパッドなどで行う。

メモリ

内部記憶装置のこと。

CPUがデータ処理する際に、そのデータを一時的に保管する場所をいう。自由にデータを読み書きできるRAM(ラム)と、書かれているデータを読み出すことしかできないROM(ロム)がある。一般的にRAMに書き込まれたデータは電源を切ると消えてしまうが、ROMに書き込まれたデータは消えることはない。

メモリスイッチ

ディップスイッチ同様、コンピュータの状態を変更するために用いられるスイッチ。

コンピュータ本体に内蔵されている不揮発メモリを使って行うので、電源を切っても記憶されている内容は消えない。

メーリングリスト

複数の宛先に電子メールを送り、議論をするシステム。Net Newsは不特定多数の相手に向けて、情報を投稿するが、メーリングリストでは、特定の参加者のみ電子メールを受け取ることができる。

モデム

「MODEM: MODulator = 変調器、DEModulator = 復調器」という変復調器の英語から造語されたもので、データ(情報)通信に用いられる機器のこと。コンピュータが処理できるデジタル信号を電話回線の音声信号(アナログ信号)に変調したり、あるいは、この逆の処理(復調)を行う。

や

ユーティリティ

フロッピーディスクのフォーマットやディレクトリの管理など、OSのコマンドを使わなくても簡単に操作できるソフトウェアのこと。

ら

ライトプロテクト

書き込み禁止のこと。

大切なフロッピーディスクに誤って他の情報を書き込んでしまわないよう3.5インチフロッピーディスクの場合、ライトプロテクトノッチを押し上げ、5インチフロッピーディスクの場合、ライトプロテクトシールを貼るなどしてフロッピーディスク全体を保護する。

リターンキー

コンピュータに作業の実行などを指示するキー。エンターキーともいう。

リモート管理

ネットワークの別のコンピュータを、手元のコンピュータから管理すること。

ルータ

情報(パケット)を転送する方向を決定する装置。ルータは転送経路や回線の混み具合を考慮しながら、もっとも効率がよいと考えられるネットワークにデータを中継する。

レジューム

サスペンド内容をもとに復元すること。

わ

割り込みチャネル

割り込みレベル

割り込みレベル

CPU実行中、周辺機器から命令が送られた場合などに、現在の作業を中断して、後からの命令を実行することを「割り込み」という。中断した作業は、割り込んだ命令が終了した後に改めて実行できる。CPUが作業を終了するのを待たずにすむため、効率のよい処理が可能になる。割り込みは幾つかのレベルに分けられ、INTまたはIRQという番号で区別されている。割り込みチャンネルと言うこともある。

DMAチャンネル

Direct Memory Access Channelの略。周辺機器とメモリとのデータのやり取りを制御することによるCPUの負担を減らすため、コンピュータには、CPUを通さずにデータをやり取りするDMAコントローラが内蔵されている。DMAコントローラが持つデータの径路をDMAチャンネルという。本機は4つのDMAチャンネルを持ち、それぞれを特定の周辺機器に割りあてる。

DSU

Digital Service Unitの略。通信機器とISDN回線を接続するための終端装置のこと。

e-mail

インターネットに接続したコンピュータ同士でメッセージをやり取りするための手段。電子メール。

Enterキー

コンピュータに作業の実行などを指示するキー。

FM音源

FMとは、Frequency Modulation(周波数変調)の略。

音色・音程・音の強弱という音の3要素すべてを表現できる音源。豊かな音色の表現力を持ち、エレキトリック楽器はもちろん、アコースティック楽器の音色も表現できる。

FTP

File Transfer Protocolの略。ネットワークで、ファイルの転送を行うシステムやプログラムのこと。

GOPHER

インターネット上の情報を階層メニュー形式で検索するサービス。

英数

ANK文字

アルファベット(Alphabet)数字(Numeric)カナ(Kana)文字のこと。すべて1バイト(8ビット)で表現される。

archie

各地のFTPサーバに保存されたファイルがどこにあるのかを検索するためのサービス。

CD-ROM

音楽用のCD(コンパクトディスク)と同じ形状をした読み出し専用の記録媒体。文字データのほか画像など大量のデータを収められる。

CPU

Central Processing Unitの略。人間の脳にあたるコンピュータの中心となる部分。いろいろな演算や制御を行う。

CRTディスプレイ

CRTとは英語のCathode Ray Tube(陰極線管)の略。

パソコンから送られた文字やグラフィックスを画面に表示する装置。

テレビのブラウン管と同じように、ブラウン管に電子ビームを当てて文字やグラフィックを描く仕組みになっている。

HTML

Hyper Text Markup Languageの略。WWWで表示される画面は、この書式で記述される。HTML形式のテキストにURLを埋め込み、画像や音声などのデータが表示できるようにする。

IrDA(Infrared Data Association)

米国で設定された赤外線データ通信に関する標準化団体。

ISDN

Integrated Services Digital Networkの略。

音声やコンピュータのデータをデジタル情報に変更して、高速な通信を行う統合デジタル通信ネットワークのこと。

NTTが提供しているISDNサービスにINSネット64がある。

LAN(ラン)

Local Area Networkの略。限定された場所・地域・建物の中にある複数のコンピュータを結び、データのやり取りができるようにしたネットワークのこと。

MIDI

シンセサイザなどの電子楽器どうしや、電子楽器とコンピュータの間で信号をやり取りするための規格。

Microsoft Windows

米国マイクロソフト社の開発したOS(オペレーティングシステム)。コマンドを入力せずにマウスを使って操作する。複数のプログラムを同時に実行できるなどの特長がある。

MS-DOS

パソコンの標準的なオペレーティングシステムの一つ。

NetNews

インターネットで、さまざまな分野について意見や情報の交換を文書で行うシステムのこと。

OS(オーエス)

オペレーティングシステム

PCM

Pulse Code Modulationの略。

人間の声や楽器の音など、アナログ信号で表される音声信号を、デジタル信号に変換する方式のこと。

PPP

Point to Point Protocolの略。ダイヤルアップIP接続の場合に使用する。

RAM(ラム)

Random Access Memoryの略。

自由に書き込みできるメモリのこと。プログラムのほとんどがRAMに読み込まれて動作するようになっている。また、データもRAMに読み込んでから処理される。

ROM(ロム)

Read Only Memoryの略。

読み出すことしかできないメモリのこと。システムソフトはROMに書き込まれていることが多い。また、漢字の字体のデータが記録されている漢字ROMもある。

ROMアドレス空間

コンピュータ内部のROMの中は、バイト単位に「アドレス(番地)」と呼ばれる数値が付けられており、ROM中の情報が書き込まれている部分を「ROMアドレス空間」と呼ぶ。

RS-232C

米電子工業学会(EIA)によって規定されたコンピュータと周辺装置とのインターフェイスの規格。

SCSI

Small Computer System Interfaceの略。米国規格協会が規格として定めた、コンピュータと周辺機器とのインターフェイス(接続部分)の規格。外付けのハードディスクやスキャナなどの接続には、このインターフェイスを使用するのが一般的である。この規格のインターフェイスを「SCSI(スカジー)インターフェイス」と呼ぶ。

SIR

赤外線を使用したデータ転送の一種。この方式を採用しているパソコンや周辺機器とは、ケーブルを使わずにデータの転送が可能。

TA

Terminal Adapterの略。DSUと電話機やモデム、コンピュータなどを接続するための機器のこと。

Telnet

離れた場所にあるコンピュータを、ネットワークを使って利用するためのシステムのこと。

TFT液晶ディスプレイ

Thin Film Transistor(薄膜トランジスタ)の略。液晶ディスプレイの表示方式の一つ。各画素に半導体のスイッチを組み込んだアクティブマトリクス方式のディスプレイで、半導体に薄膜トランジスタを使ったものをさす。

URL

Uniform Resource Locatorの略。インターネット上に存在する情報の所在を指し示す表現。WWWでは、URLを利用して目的のサーバにアクセスする。

UUCP接続

UNIX-TO-UNIX Protocolの略。インターネットの接続形態の一種。UNIXのファイル転送プロトコルのUUCPを使って、一定時間ごとにデータを転

送する。この接続方式では、電子メールとNetNewsなどのサービスのみ使用できる。

VRAM

Video RAMの略。ディスプレイに文字や画像を表示するためのデータを書き込む、画像表示専用メモリのこと。文字を表示するテキスト用VRAMと、画像を表示するグラフィック用VRAMに分けられる。

WAIS

インターネット上のリソースをインデックスに基づいて検索するサービス。

WWW

World Wide Webの略。インターネットに点在する文書や画像などの情報をHTMLを使って結びつけたもの。表示される画面をクリックして、さまざまなサーバから提供される情報にジャンプできる。

索引

ア

アプリケーションキー	44
アプリケーションソフト	9, 67, 75
インストール	9
エラーメッセージ	4
オートサスペンド	23

カ

海外ゲーム対応ユーティリティ	40
解像度	34, 35
拡張子	14
仮想サウンドドライバ	5
かなキーロック表示	41
輝度調節つまみ	3, 30
キー入力	39, 42
キーボード	19, 38
強制終了	75
固定ディスク起動メニュー	47
コントラスト調節つまみ	3, 30
コンピュータウイルス	76
ごみ箱	10, 47

サ

サウンド	63
サスペンド	23
サスペンド状態	3
サスペンドスイッチ	3
サスペンド/レジューム機能	23
時刻	66
システムファイル	5
シャットダウン	4
周辺機器	6, 73
省電力機能	33
水平走査周波数	30
スキップセクタ	50
スキャンディスク	49
[スタート]ボタン	11
スピーカー音量調節つまみ	4, 63
赤外線通信	68
赤外線通信ポート	68
セットアップ	2
セットアップパスワード	7

タ

ダイヤル	56
ダイヤルアップ	55
タスクバー	11

タップ&ドラッグ	42
ダブルクリック	42
デバイスマネージャ	13, 55
デフラグ	50
電源アイコン	21
電源管理	21
電源スイッチ	3, 7, 23
ドライブスペース	48
ドライブ名	11

ナ

内蔵スピーカ	4, 63
内蔵スピーカボリューム	64
日本語入力	17

ハ

ハードディスク	47
ハイバネーション機能	27
ハウリング	64
バックアップ	50, 71
バッテリー	20, 23
バッテリーパック	20
バッテリーリフレッシュ	20
パワーオンパスワード	7
ハングアップ	2, 39
日付	66
ファイル	10
フォーマット	45
不良セクタ	50
プリンタ	51
プリンタ I/Oロック	51
フロッピーディスク	4, 45, 66
フロッピーディスクドライブ	4, 45
ヘッドホン	63
ポインティングデバイス	38

マ

マイコンピュータ	14
マイクロホン	64
マウスポインタ	43
密度変換機能	34
メモリスイッチ	65
メモリチェック	66
モデム	54

ヤ

ユーザ情報	2
-------	---

ラ

ライトプロテクトノッチ	46
レジューム	3,25,30

ワ

割り込みレベル	6
---------------	---

英数字

ACアダプタ	3,19
DMA チャンネル	6
Exchange	61
MS-DOS モード	18
MS-DOS プロンプト	65
README ファイル	73
ROM アドレス空間	6
Safeモード	8,72
SCANDISK	4
SWITCH コマンド	65
TEMP フォルダ	48
Windows 95 起動メニュー	8
Windows キー	44
Windows パスワード	12
98 スライドパッド	38

98 NOTE

トラブルQ&A
困ったときにお読みください

PC-9821Nr13/D14
PC-9821Nr13/S14
PC-9821Nr13/S14Z

1997年7月 初版

NEC

P

808-875488-053-A